



神奈川県

小田原保健福祉事務所

令和元年度

小田原保健福祉事務所年報

小田原保健福祉事務所

目 次

第1章 保健福祉事務所の概況

I 保健福祉事務所の概況	1
1 沿革	1
2 施設の状況	2
3 組織及び所管事務	3
4 組織・職員配置状況	4
5 経理状況	5

第2章 管内の概況

I 地域の概況	6
II 管内の人口及び世帯数	7
1 世帯数、人口、面積及び人口密度	7
2 人口の年次推移	7
3 年齢3区分別管内人口	7
(1) 市町別	7
(2) 年次推移	8
III 人口動態統計	8
(1) 市町別件数	8
(2) 年次推移	8
IV 保健・医療・福祉施設総括表	9
1 医療・保健関係	9
2 福祉関係	9
V 介護保険事業所設置状況	10
VI 障害者総合支援法事業所設置状況	11

第3章 業務概況

I 管理課	12
1 医療関係従事者の免許関係事務	13
2 保健衛生表彰	13
II 企画調整課	14
1 保健医療福祉の推進	16
(1) 県西地区保健医療福祉推進会議開催状況	16
(2) 病床機能分化・連携ワーキンググループ開催状況	16
(3) 県西地区保健医療福祉推進会議委員	17
2 保健福祉サービス連携調整会議	18
3 健康危機管理	18
(1) 災害時医療救護	18
(2) 災害時要援護者対策	19
4 地域・職域の連携推進	20
(1) 県西地区地域・職域連携推進協議会等	20
(2) 普及啓発活動	21
(3) 県西地区職域研修会	21
5 たばこ対策・受動喫煙防止条例の推進	22
(1) たばこ対策	22

	(2) 受動喫煙防止条例の推進	22
6	保健・医療・福祉人材の育成	24
	(1) 保健衛生研修	24
	(2) 実習生の指導	24
	(3) 医師臨床研修地域保健研修等	25
7	医務関係事務	26
	(1) 医療施設数・人口10万対率	26
	(2) 病床数・人口10万対率	26
	(3) 医務関係許可等取扱い件数	27
	(4) 医療関係者数	27
	(5) 病院等立入検査	27
	(6) 管内の病院及び救急診療所	28
8	調査・統計・報告	29
9	献血の推進	29
	(1) 市町別献血目標数・実績	29
	(2) 年度別献血目標数・実績	29
	(3) 献血推進功労者表彰	29
10	地域保健師業務連絡会議等	30
	(1) 地域保健師業務連絡会議	30
	(2) 研究・研修	30
	(3) 保健師業務	31
11	地域包括ケア・在宅医療の推進	32
	(1) 県西地区地域包括ケアシステム推進行政担当者会議	32
	(2) 講演会	32
	(3) 県西地区地域包括ケア会議・県西地区在宅医療推進協議会	32
III	保健福祉課	33
1	母子保健	35
	(1) 小児医療援護事務	35
	(2) 養育支援事業	35
	(3) 妊娠・出産支援体制づくり事業	36
	(4) 思春期保健事業	38
	(5) 不妊に悩む方への特定不妊治療費助成事業	39
	(6) 生涯を通じた女性の保健相談等事業	39
2	歯科保健	40
	(1) 連携体制づくり	40
	(2) 人材育成	40
	(3) 専門的かつ技術的事業	41
	(4) 健康教育	43
3	栄養・食生活	44
	(1) 栄養・食生活対策事業	44
	(2) 専門的栄養指導・食生活支援事業	44
	(3) 栄養表示等適正化推進事業	45
	(4) 地域保健活動推進研修事業	45
	(5) 特定給食等指導事業	46
	(6) 市町支援	48
	(7) 人材育成	48

4	がん・健康増進	48
	(1) 健康増進事業の自己評価のヒアリング	48
	(2) 健康づくりのためのデータ活用事業	48
	(3) 地域企業におけるがん検診受験促進事業	49
	(4) がん検診普及啓発セミナー	49
	(5) 地域でのイベントにおけるがん検診普及啓発	50
5	地域福祉の事業	50
	(1) 民生委員・児童委員	50
	(2) 障害福祉相談員	51
	(3) 神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例の普及啓発	51
	(4) 地域福祉コーディネーター	51
6	介護保険	53
	(1) 介護保険指定事業者指導	53
	(2) 介護保険市町担当者連絡会議	53
7	母子・父子・寡婦福祉資金の貸付	54
8	福祉事務所の経理	54
	(1) 生活保護費等支給事務	54
	(2) 特別障害者等手当支給事務	54
IV	保健予防課	55
1	感染症対策	57
	(1) 感染症発生状況	57
	(2) 感染症診査協議会感染症部会	57
	(3) 通報等に伴う調査	58
	(4) 集団かぜによる学級閉鎖・学年閉鎖状況	58
	(5) 社会福祉施設等における感染症報告に伴う報告・相談状況	58
	(6) 感染症対策連絡会議	59
	(7) 蚊の生息調査	59
	(8) 感染症研修会	60
	(9) 個別保健指導	60
	(10) 手洗いチェッカーの貸出	60
2	結核予防対策	61
	(1) 感染症診査協議会結核部会	61
	(2) 結核患者の状況	61
	(3) 健康診断	63
	(4) 保健指導	64
	(5) 研修	64
3	エイズ予防・性感染症予防対策	65
	(1) エイズ相談・検査	65
	(2) エイズ予防啓発事業	65
4	難病対策	66
	(1) 特定医療費（指定難病）医療受給者証交付件数	66
	(2) 難病対策地域協議会	67
	(3) 難病患者地域支援ネットワーク事業	67
	(4) 難病特別対策推進事業	68
5	肝疾患対策	69
	(1) ウイルス性肝炎相談及びC型肝炎・B型肝炎ウイルス検査実施状況	69

	(2) 肝炎治療医療費助成制度	69
6	原爆被爆者援護	69
	(1) 原爆被爆者健康管理事業	69
7	骨髄ドナー登録	70
	(1) 小田原保健福祉事務所登録受付の状況	70
	(参考) 骨髄バンクの状況	70
8	認知症疾患対策	70
	(1) 認知症疾患相談事業	70
	(2) 認知症疾患訪問指導	71
	(3) 処遇困難事例検討事業	71
	(4) 若年性認知症対策事業	73
	(5) 介護予防・認知症予防支援事業	73
	(6) 徘徊SOSネットワーク事業	74
	(7) その他	74
9	精神保健福祉対策	75
	(1) 会議	75
	(2) 精神保健福祉業務統計	75
	(3) 普及啓発	77
	(4) 団体支援	77
	(5) 家族支援	77
	(6) 医療保護関係事務	78
	(7) 自殺対策事業	78
	(8) その他	79
V	生活福祉課	80
1	生活保護	81
	(1) 扶助別被保護世帯数・人員	81
	(2) 保護の開始・廃止	81
	(3) 世帯類型別被保護世帯の状況	82
	(4) 労働力類型別被保護世帯の状況	82
	(5) 医療扶助人員の状況	82
	(6) 生活保護施設措置状況	82
	(7) 保護の開始廃止件数の推移	82
	(8) 保護世帯数等の推移	82
2	特別障害者手当等	83
3	母子・父子・寡婦福祉、女性相談・支援	83
	(1) 母子・父子・寡婦福祉	83
	(2) 女性相談・支援	84
VI	環境衛生課	85
1	環境衛生営業関係	86
	(1) 環境衛生営業関係	86
2	生活環境施設関係	87
	(1) 生活環境施設関係	87
	(2) 水道施設関係	88
	(3) 環境対策事業	89
3	動物愛護関係	89
	(1) 動物の飼育指導・相談	89

4	薬事衛生関係	90
	(1) 医薬品関係	90
	(2) 毒物劇物関係	91
	(3) 麻薬関係	91
	(4) 薬物乱用防止対策事業	92
VII	食品衛生課	93
1	食品営業施設の許認可事務及び監視指導	94
2	食品等の収去検査	96
3	衛生講習会	96
4	食中毒調査	96
5	食品等の苦情・相談	96
VIII	温泉課	97
1	許認可及び届出事務	98
2	調査事業	99
	(1) 源泉の温度・揚湯量等の調査	99
	(2) 温泉状況の推移	99
	(3) 温泉水位調査	99
	(4) 温泉採取許可施設の監視指導	100
	(5) 温泉利用施設の監視指導	100
	(6) 硫化水素含有泉の調査・監視指導	101
3	温泉の保護及び適正利用の意識啓発	101
職員研究発表		
	職員の研究会・学会等発表	102

<<凡例>>

- ・本書は、平成31/令和元年度（以下、『令和元年度』）の数値を記載しています。
（原則として、令和2年3月31日現在）
それ以外の数値の場合は、表の右上に時点を示しています。
- ・表中で使用される一般的な記号の用途は、次のとおりです。
「空欄」，「0」… 計数のない場合
「※」，「注」… 注意及び特記事項

I 保健福祉事務所の概況

1 沿革

昭和13年	6月	9日	現在の小田原市浜町に小田原保健所開設、足柄上郡及び足柄下郡を所管区域としました。
19年	10月	1日	松田保健所の開設により、所管区域は小田原市と足柄下郡になりました。
24年	8月	3日	行政組織規則の一部改正により、総務課、衛生課、予防課が設置されました。
34年	7月	1日	行政組織規則の一部改正により、温泉室が設置され、のちに（昭和36年12月）温泉課と改められました。
36年	12月	1日	行政機関設置条例の一部改正により、小田原市南町2丁目4番45号に移転しました。
45年	7月	1日	行政組織規則の一部改正により、保健婦室が設置され、のちに（昭和58年6月）健康指導課と改められました。
58年	4月	1日	真鶴町真鶴に小田原保健所真鶴支所を開設しました。
61年	4月	1日	行政機関設置条例及び行政組織規則の一部改正により、保健衛生部・環境衛生部が設置され、管理課、保健衛生部保健予防課・健康指導課、環境衛生部環境衛生課・食品衛生課・温泉課及び真鶴支所の2部6課1支所となりました。
62年	6月	1日	行政機関設置条例及び行政組織規則の一部改正により、保健所試験検査業務集中化のため、衛生検査課が設置され、管理課、保健衛生部保健予防課・衛生検査課・健康指導課、環境衛生部環境衛生課・食品衛生課・温泉課及び真鶴支所の2部7課1支所となりました。
平成9年	4月	1日	行政機関設置条例及び行政組織規則の一部改正により、真鶴支所を廃止するとともに、小田原保健所と西湘地区行政センター福祉部を統合し、小田原保健福祉事務所として設置され、管理課、企画調整室、保健福祉部保健福祉課・保健予防課・生活福祉課、生活衛生部環境衛生課・食品衛生課・温泉課、衛生検査課の2部1室8課となりました。
15年	4月	1日	行政機関設置条例の一部改正により、小田原市荻窪350番地の1に移転しました。
15年	6月	1日	行政組織規則の一部改正により、衛生検査課が衛生研究所に移管され2部1室7課となりました。
19年	6月	1日	行政組織規則の一部改正により、企画調整室が企画調整課と改められ2部8課となりました。
20年	4月	1日	行政機関設置条例の一部改正により、保健福祉事務所、保健所、福祉事務所が保健福祉事務所に統一されました。
26年	4月	1日	行政機関設置条例及び行政組織規則の一部改正により、足柄上保健福祉事務所が小田原保健福祉事務所足柄上センターとして統合されました。

2 施設の状況

(1) 土地

小田原合同庁舎内に事務所設置

区分	所在地	敷地面積 [m ²]	所有区分	使用開始年月日
小田原合同庁舎	小田原市荻窪 350-1	8,348.53	借用	H15.4.1

(2) 建物

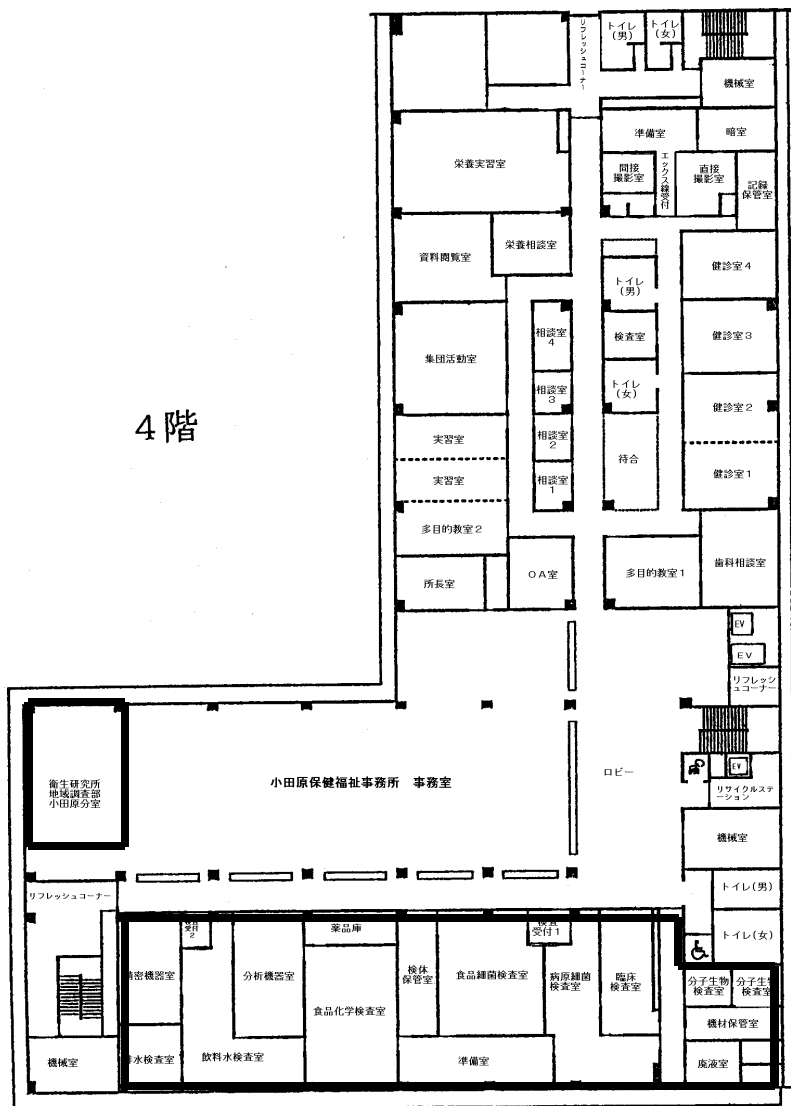
小田原合同庁舎 本体 (RC造免震) 6階 延床面積 18,145.5m²

小田原保健福祉事務所が使用する部分は次のとおり

使用場所	内 訳	使用延床面積 [m ²]	所有区分	使用開始年月日	備 考
1階	防災備蓄倉庫他	79.79	借用	H15.4.1	特別管理産業廃棄物 保管庫・犬舎・駐車ス ペース・温泉課倉庫
4階	事務室他	1,905.03			
5階	倉庫	16.45			
計		2,001.27			

※土地及び建物は、神奈川県が神奈川県住宅供給公社から借用。

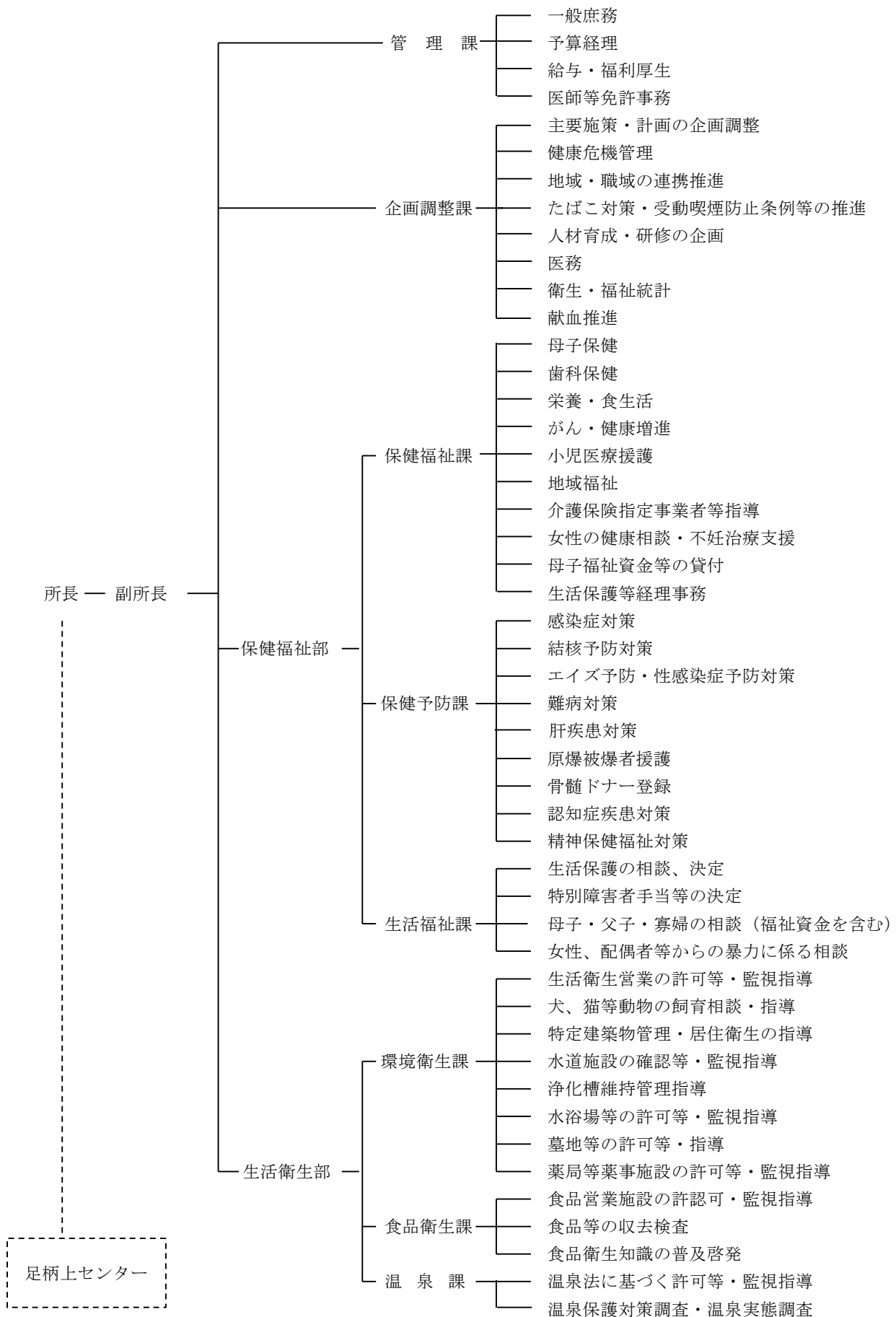
(3) 4階平面図



※ 太枠部分は、衛生研究所地域調査部小田原分室使用面積 720.63m²

3 組織及び所管事務

(令和2年4月1日現在)



4 組織・職員配置状況

(令和2年4月1日現在)

組 織 (職)	職 員 数															
	一 般 事 務 職	福 祉 職	医 師	歯 科 医 師	診 療 放 射 線 職	歯 科 衛 生 士	栄 養 士	保 健 師	狂 犬 病 予 防 員	衛 生 監 視 員	温 泉 監 視 員	小 計	臨 時 的 任 用 職 員	再 任 用 職 員	非 常 勤 職 員	合 計
所 長			1									1				1
副 所 長	1											1				1
管 理 課	3											3		2	1	6
企 画 調 整 課	5							1				6			1	7
保 健 福 祉 部 長								1				1				1
保 健 福 祉 課	3	1		1		1	2	4				12	1	3	3	19
保 健 予 防 課	2	2	2		1			6				13	1		2	16
生 活 福 祉 課	1	16										17			7	24
生 活 衛 生 部 長										1		1				1
環 境 衛 生 課									1	7		8				8
食 品 衛 生 課										10		10	1			11
温 泉 課											4	4	1			5
合 計	15	19	3	1	1	1	2	12	1	18	4	77	4	5	14	100

※足柄上センターを除く。

5 経理状況

(令和元年度 決算額：円)

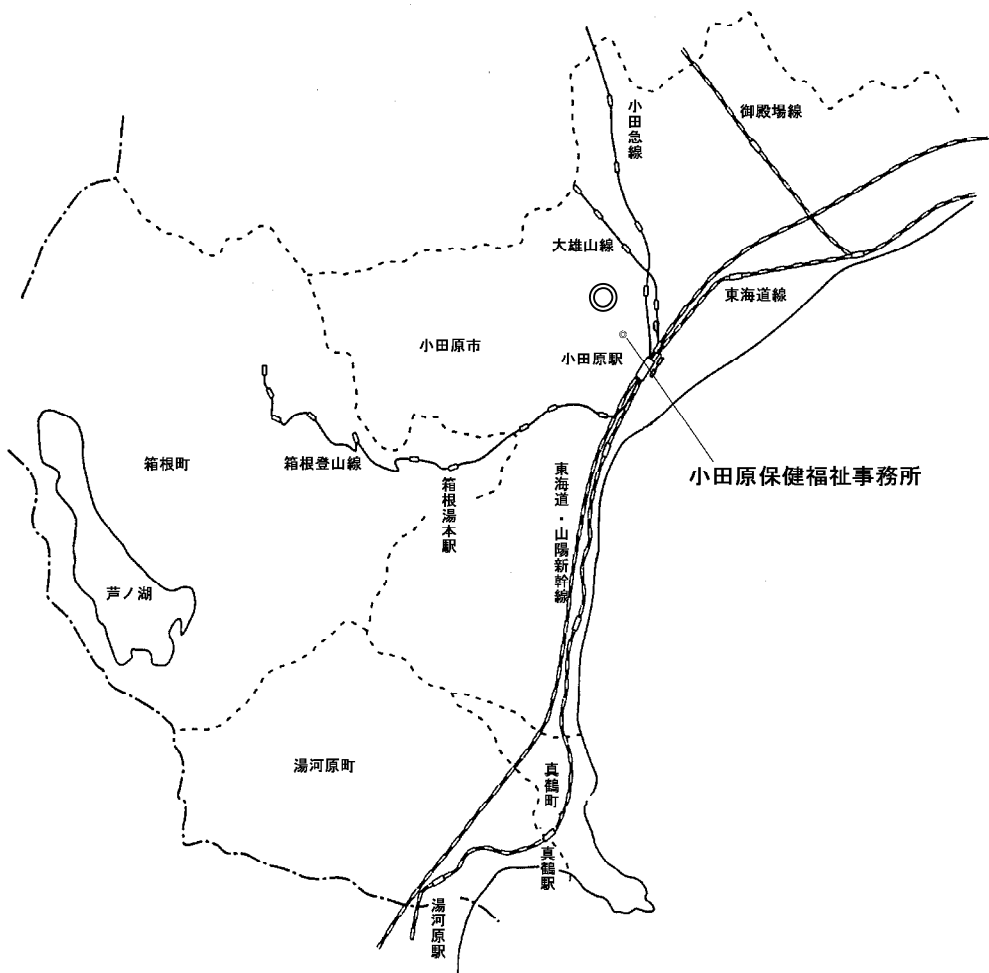
収 入		支 出			
衛生手数料	23,080,290	一 般 会 計			
公衆衛生費 手数料	3,384,600	総務費	18,958,724	環境費	79,000
環境衛生費 手数料	16,126,260	総務管理費	18,958,724	環境保全対策費	79,000
医薬費手数料	3,569,430	一般管理費	18,951,724	大気水質保全費	79,000
雑入	9,877,851	人事管理費	7,000		
民生費雑入	9,861,411	民生費	996,324,056	母子父子寡婦福祉資金会計	
衛生費雑入	16,440	社会福祉費	33,747,284	母子父子寡婦福祉資金	6,192
		社会福祉総務費	29,377,746	事務費	6,192
		遺家族等援護費	36,416	貸付事務費	6,192
		人権男女共同参画費	4,333,122		
		児童福祉費	5,478,938	国民健康保険事業会計	
		児童福祉総務費	537,409	国民健康保険事業費	72,000
		児童措置費	4,918,467	国民健康保険事業費	72,000
		母子福祉費	23,062	保健事業費	72,000
		障害福祉費	9,369,228		
		障害福祉総務費	9,369,228		
		老人福祉費	272,503		
		老人保健福祉総務費	219,353		
		介護保険事業費	53,150		
		生活保護費	947,456,103		
		生活保護総務費	30,377,713		
		扶助費	917,078,390		
		衛生費	22,521,219		
		公衆衛生費	5,279,019		
		公衆衛生総務費	1,320,900		
		予防費	2,754,247		
		精神保健福祉費	994,872		
		生活習慣病対策費	185,000		
		衛生研究所費	24,000		
		環境衛生費	1,660,779		
		生活衛生指導費	1,660,779		
		保健所費	14,709,805		
		保健所費	14,709,805	支 出 合 計	
		医薬費	871,616	一般会計	1,037,882,999
		医務費	646,382	母子父子寡婦福祉資金会計	6,192
		薬務費	225,234	国民健康保険事業会計	72,000
合計	32,958,141			合計	1,037,961,191

I 地域の概況

管内は神奈川県西部に位置する小田原市及び足柄下郡の箱根町、真鶴町、湯河原町の1市3町により構成されています。面積約255km²に対し、平成30年10月1日現在の管内の人口は約23万4千人であり、人口は年々減少傾向にあります。また、平成30年1月1日現在の年齢別の人口構成をみると、65歳以上の割合が31.3%と県全体(24.9%)を6.4ポイント上回っており、横須賀・三浦地域(31.6%)に次いで高い地域となっています。

地理的には、相模湾に沿い、背後に富士箱根伊豆国立公園を控え、県立真鶴半島自然公園、県立奥湯河原自然公園など豊かな自然に恵まれ、気候は温暖です。丘陵では、みかんや梅の栽培が行われ、平野部では良質の水を資源として農業、工業が、そして相模湾では沿岸漁業と幅広い産業が営まれています。

また、古くから東西陸路の要衝として栄えたこの地域は、史跡や伝統芸能・行事など多くの文化遺産があり、温泉資源も豊富で国際的な観光・保養地として多くの人に利用されています。



II 管内の人口及び世帯数

1 世帯数、人口、面積及び人口密度

(令和元年10月1日現在)

	世帯数	人 口			面 積 km ²	人口密度 (1 km ²) 人
		総 数	男	女		
総 数	世帯 101,836	人 231,923	人 111,987	人 119,936	254.69	911
小田原市	81,748	190,109	92,406	97,703	113.81	1,670
箱根町	6,217	11,169	5,330	5,839	92.86	120
真鶴町	3,051	6,843	3,202	3,641	7.05	971
湯河原町	10,820	23,802	11,049	12,753	40.97	581

出典：神奈川県人口統計調査結果

2 人口の年次推移

(各年10月1日現在)

	総 数	小田原市	箱根町	真鶴町	湯河原町
昭和60年(1985年)※	人 241,594	人 185,941	人 19,792	人 9,834	人 26,027
平成2年(1990年)※	250,087	193,417	19,365	9,588	27,717
平成7年(1995年)※	256,509	200,103	18,411	9,606	28,389
平成12年(2000年)※	252,798	200,173	15,829	9,075	27,721
平成17年(2005年)※	249,091	198,741	14,206	8,714	27,430
平成22年(2010年)※	247,240	198,327	13,853	8,212	26,848
平成23年(2011年)	246,012	197,733	13,577	8,060	26,642
平成24年(2012年)	244,598	196,880	13,417	7,869	26,432
平成25年(2013年)	243,150	196,073	13,298	7,681	26,098
平成26年(2014年)	241,560	195,125	13,137	7,549	25,749
平成27年(2015年)	238,281	194,174	11,717	7,344	25,046
平成28年(2016年)	236,787	193,313	11,647	7,169	24,658
平成29年(2017年)	235,588	192,407	11,622	7,082	24,477
平成30年(2018年)	233,695	191,181	11,389	6,960	24,165
令和元年(2019年)	231,923	190,109	11,169	6,843	23,802

出典：神奈川県人口統計調査結果

(注) ※の年は、「国勢調査」による確定人口、その他の年は推計人口

3 年齢3区分別管内人口

(1) 市町別

(平成31年1月1日現在)

	人 口 (人)					割 合 (%)			老年化 指数
	総 数	年少人口 (0~14歳)	生産年齢 人 口 (15~64歳)	老年人口 (65歳以上)	年齢不詳	年少人口 (0~14歳)	生産年齢 人 口 (15~64歳)	老年人口 (65歳以上)	
総 数	233,355	24,526	133,474	73,749	1,606	10.6	57.6	31.8	300.7
小田原市	190,999	21,347	111,789	56,640	1,223	11.2	58.9	29.8	265.3
箱根町	11,289	746	6,187	4,102	254	6.8	56.1	37.2	549.9
真鶴町	6,929	503	3,526	2,899	1	7.3	50.9	41.8	576.3
湯河原町	24,138	1,930	11,972	10,108	128	8.0	49.9	42.1	523.7
神奈川県	9,181,625	1,106,141	5,704,254	2,288,304	82,926	12.2	62.7	25.1	206.9

出典：神奈川県年齢別人口統計調査結果

(注) 老年化指数とは、年少人口に対する老年人口の比率

総数には年齢不詳を含んでいるが、年齢3区分別構成比は年齢不詳を除いて算出している。

(2) 年次推移

	人 口 (人)					割 合 (%)			老年化 指 数
	総 数	年少人口 (0~14歳)	生産年齢 人 口 (15~64歳)	老年人口 (65歳以上)	年齢不詳	年少人口 (0~14歳)	生産年齢 人 口 (15~64歳)	老年人口 (65歳以上)	
平成12年	254,749	35,775	174,170	44,000	804	14.0	68.4	17.3	123.0
平成17年	249,573	33,089	164,937	51,440	107	13.3	66.1	20.6	155.5
平成22年	246,923	30,644	155,050	61,091	138	12.4	62.8	24.7	199.4
平成23年	247,080	30,009	154,403	61,804	864	12.2	62.7	25.1	206.0
平成24年	245,590	29,353	152,404	62,969	864	12.0	62.3	25.7	214.5
平成25年	244,277	28,737	149,343	65,333	864	11.8	61.4	26.8	227.3
平成26年	242,892	28,119	146,479	67,430	864	11.6	60.5	27.9	239.8
平成27年	241,167	27,424	143,220	69,659	864	11.4	59.6	29.0	254.0
平成28年	237,931	26,530	139,094	70,701	1,606	11.2	58.9	29.9	266.5
平成29年	236,658	25,879	137,093	72,080	1,606	11.0	58.3	30.7	278.5
平成30年	235,159	25,255	135,292	73,006	1,606	10.8	58.0	31.3	289.0
令和元年	233,355	24,526	133,474	73,749	1,606	10.6	57.6	31.8	300.7

出典:神奈川県年齢別人口統計調査結果

Ⅲ 人口動態統計

(1) 市町別件数

(平成30年)

	出 生		死 亡		乳児死亡		死 産		周産期死亡		婚 姻		離 婚	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
総 数	1,329	5.7	2,857	12.23	3	2.3	31	22.8	7	5.3	979	4.2	362	1.55
小田原市	1,160	6.1	2,151	11.25	2	1.7	27	22.7	6	5.1	849	4.4	298	1.56
箱根町	42	3.7	186	16.33			2	45.5			38	3.3	15	1.32
真鶴町	30	4.3	121	17.39							18	2.6	7	1.01
湯河原町	97	4.0	399	16.51	1	10.3	2	20.2	1	10.2	74	3.1	42	1.74

出典:神奈川県衛生統計年報

(2) 年次推移

	出 生		死 亡		乳児死亡		死 産		周産期死亡		婚 姻		離 婚	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
昭和60年	2,480	10.3	1,531	6.3	14	5.6	128	49.1	21	8.4	1,414	5.9	347	1.44
平成2年	2,324	9.3	1,775	7.1	11	4.7	75	31.3	11	4.7	1,439	5.8	326	1.30
平成7年	2,395	9.3	1,920	7.5	15	6.3	49	20.0	18	7.5	1,684	6.6	440	1.72
平成12年	2,267	9.0	2,055	8.1	6	2.6	70	30.0	16	7.0	1,552	6.1	558	2.21
平成17年	1,844	7.4	2,378	9.6	8	4.3	60	31.5	14	7.4	1,339	5.4	520	2.09
平成22年	1,777	7.2	2,494	10.1	5	2.8	46	25.2	10	5.6	1,191	4.8	474	1.92
平成23年	1,689	6.9	2,627	10.7	4	2.4	59	33.8	9	5.3	1,121	4.6	490	1.99
平成24年	1,757	5.7	2,709	13.9	5	3.8	36	19.5	9	6.7	1,148	4.0	478	1.80
平成25年	1,579	6.5	2,733	11.2	3	1.9	47	28.9	4	2.5	1,085	4.5	432	1.78
平成26年	1,577	6.4	2,736	11.3	4	2.6	42	26.3	8	5.1	1,038	4.3	433	1.7
平成27年	1,563	6.6	2,751	11.6	2	1.3	27	17.0	6	3.8	1,089	4.6	444	1.86
平成28年	1,425	6.0	2,729	11.5	3	2.1	28	19.3	4	2.8	993	4.2	409	1.73
平成29年	1,399	5.9	2,822	11.98	6	4.3	37	25.8	9	6.4	1,004	4.3	425	1.80
平成30年	1,329	5.7	2,857	12.23	3	2.3	31	22.8	7	5.3	979	4.2	362	1.55

出典:神奈川県衛生統計年報

(注) 乳児死亡 … 生後1年未満の死亡

死産 … 妊娠12週(妊娠第4月)以後の死児の出産

周産期死亡 … 妊娠満22週(154日)以後の死産+早期新生児死亡

出生率、死亡率、婚姻率、離婚率 … 人口1,000対

乳児死亡率 … 出生1,000対 死産率 … 出産(出生+死産)1,000対

周産期死亡率 … 出産(出生+妊娠満22週以後の死産)1,000対

IV 保健・医療・福祉施設総括表

1 医療・保健関係

(令和2年3月31日現在)

	医療施設等				薬事施設		施術所		保健施設
	病院	一般診療所	歯科診療所	助産所	薬局	医薬品販売業	あんま・はり・灸	柔道整復	保健センター
総数	17	189	135	6	125	78	328	72	3
小田原市	13	157	112	5	108	66	239	57	1
箱根町	1	8	6		4	3	36	2	1
真鶴町		3	2		2	2	10	2	
湯河原町	3	21	15	1	11	7	43	11	1

2 福祉関係

	老人福祉施設(注1)				その他(注1)
	軽費老人ホーム	ケアハウス	老人福祉センター	地域包括支援センター	無料低額宿泊所
総数	1	1	2	15	10
小田原市	1	1		12	10
箱根町			1	1	
真鶴町			1	1	
湯河原町				1	

	児童福祉施設(注2)									(注1)
	認可保育所	認定こども園	私設保育施設	家庭的保育	小規模保育	事業所内保育	居宅訪問型保育	幼稚園	放課後児童クラブ	児童養護施設
総数	41	3	28	0	2	0	0	21	28	4
小田原市	33	1	23		2			16	25	1
箱根町	1	2	2					2	1	2
真鶴町	2							1		
湯河原町	5		3					2	2	1

(注1) 出典は神奈川県ホームページ

(注2) 出典は(社団法人)かながわ福祉サービス振興会「子育て支援情報サービスかながわ」

V 介護保険事業所設置状況

	総 数	小田原市	箱 根 町	真 鶴 町	湯河原町
	229(98)	175(75)	14(8)	4(2)	36(13)
指定訪問介護事業	59	48	2		9
指定訪問入浴介護事業	7(3)	6(2)			1(1)
指定訪問看護事業	27(27)	23(23)	2(2)		2(2)
指定訪問リハビリテーション事業	2(2)		1(1)		1(1)
指定通所介護事業	42	30		2	10
指定通所リハビリテーション事業	8(6)	5(3)	1(1)		2(2)
指定短期入所生活介護事業	14(14)	10(10)	2(2)		2(2)
指定短期入所療養介護事業	7(6)	5(4)	1(1)		1(1)
指定特定施設入居者生活介護事業	23(22)	16(15)	1(1)	2(2)	4(4)
指定福祉用具貸与事業	9(9)	9(9)			
指定特定福祉用具販売事業	9(9)	9(9)			
指定介護老人福祉施設	13	9	2		2
介護老人保健施設	7	5	1		1
介護医療院	2		1		1

(注) みなし指定事業所を除く。() 書きは指定介護予防事業所で外数

VI 障害者総合支援法事業所設置状況

			総数	小田原市	箱根町	真鶴町	湯河原町
			256	233	1		22
障害者	訪問系・短期入所	居宅介護	42	37	1		4
		重度訪問介護	36	32			4
		行動援護	3	3			
		同行援護	14	12			2
		重度障害者等包括支援	0				
		短期入所（ショートステイ）	12	12			
	居住系	施設入所支援（障害者支援施設での夜間ケア等）	4	4			
		共同生活援助	18	17			1
	通所系	療養介護	2	2			
		生活介護	15	14			1
		宿泊型自立訓練	0				
		自立訓練（機能訓練）	3	3			
		自立訓練（生活訓練）	0				
		就労移行支援（一般型）	4	4			
		就労継続支援（A型）	1	1			
	就労継続支援（B型）	19	18			1	
	相談系	特定相談支援（計画相談支援）	19	17			2
		一般相談支援（地域移行支援）	8	8			
		一般相談支援（地域定着支援）	7	7			
		障害児相談支援	13	11			2
	障害児	障害児通所	児童発達支援	9	7		
放課後等デイサービス			20	17			3
保育所等訪問支援			3	3			
医療型児童発達支援			0				
入所 障害児		福祉型障害児入所施設	2	2			
		医療型障害児入所施設	2	2			

(注) 公益社団法人かながわ福祉サービス振興会「障害福祉情報サービスかながわ」掲載データにより作成

I 管 理 課

1 医療関係従事者の免許関係事務

医師、歯科医師等医療関係従事者の免許登録申請、再交付等の業務を行いました。

2 保健衛生表彰

管内の公衆衛生、医療、薬事、その他の保健衛生の進展等に努めた個人、団体又は施設の表彰を行いました。

1 医療関係従事者の免許関係事務

	総 数	医 師	歯 科 医 師	薬 剤 師	保 健 師	助 産 師	看 護 師	准 看 護 師	栄 養 士	受 胎 調 節 実 地 指 導 員	診 療 放 射 線 技 師	臨 床 検 査 技 師	衛 生 検 査 技 師	理 学 療 法 士	作 業 療 法 士	視 能 訓 練 士	歯 科 技 工 士	管 理 栄 養 士
総 数	442	11	6	45	16	6	207	25	22	0	3	13	0	27	24	1	0	36
登録申請	308	9	5	30	9	3	144	19	13		2	6		20	22			26
籍訂正	122	2	1	14	7	3	60	5	7			5		7	1	1		9
再交付	11						3	1	2		1	2			1			1
登録抹消	1			1														
返 納																		

2 保健衛生表彰

神奈川県保健衛生表彰要綱第7条の規定に基づき、管内の公衆衛生、医療、薬事、その他の保健衛生の伸展に努め、他の模範となり、奨励するに足ると認められる個人、団体又は施設の表彰を行いました。

期 日 令和元年11月7日（木）

会 場 小田原合同庁舎

被表彰数 18件

種 別	氏 名	職 種 等
医療関係功労者	阿部 利佳子	管理栄養士
	岡宮 保彦	医師
	金子 亮	歯科医師
	西郷 千代子	看護師
	佐藤 純江	地域活動栄養士
	清水 典子	医師
	徳安 俊二	診療放射線技師
	早瀬 美保	看護師
	三堀 幸子	あん摩マッサージ指圧師
	山崎 真弘	薬剤師
	渡邊 礼子	歯科衛生士
環境衛生関係功労者	菊地 治	会社員
	杉本 智司	ペストコントロール業
	蔦野 清子	美容師
食品衛生関係功労者	山本 洋充	飲食店経営
環境衛生優良施設	理容ヤマギシ	理容所
食品衛生優良施設	伊豆屋旅館	飲食店営業
	豊陣	飲食店営業

Ⅱ 企 画 調 整 課

県西二次保健医療圏における施策事業の企画調整や健康危機管理、人材育成の業務のほか、医務関係の指導・許可、衛生統計、献血等の業務を行いました。

1 保健医療福祉の推進

「県西地区保健医療福祉推進会議」及び「同ワーキンググループ」において県西地区の保健医療福祉の推進に係る事項を関係機関と協議しました。

2 保健福祉サービス連携調整会議

各種保健福祉サービスの効果的かつ円滑な推進を図るため、管内における保健・医療・福祉に関する関係機関、団体等で構成する①母子保健福祉、②歯及び口腔の健康づくり推進、③精神保健福祉、④食生活対策推進の委員会及び協議会を開催しました。

3 健康危機管理

災害時における医療救護活動の充実を図るため、転入職員を対象とした研修等を実施しました。

新型インフルエンザ等対策に関して、情報伝達訓練及び机上訓練を実施すると共に、「県西地区地域医療体制対策会議」を開催し、対策の実施状況や各市町の取組について意見交換を行いました。

また、「県西地域災害医療対策会議」を開催し、平時から県西地域における災害時医療救護に関する活動、訓練のあり方等の検討を行うとともに、災害発生時には県保健医療調整本部と連携して県西地域における災害時医療救護活動を円滑に行うため関係機関や団体等との連携・協働体制を整備しました。

その他、地域保健師業務連絡会議の「災害時の要援護者支援に係る保健師活動検討部会・災害時要援護者支援対策担当者連絡会議」において、災害時要援護者支援対策に係る市町等との連携体制づくりに取り組みました。

4 地域・職域の連携推進

地域保健に取り組む機関と職域保健に携わる団体等が連携し、県西地区の地域特性に合わせ、生涯を通じた継続的な健康づくりの推進に取り組みました。

5 たばこ対策・受動喫煙防止条例の推進

生活習慣病・がん対策として、禁煙サポート推進事業や児童生徒等に対する喫煙防止教育を実施しました。また、受動喫煙による健康への悪影響を未然に防止することを目的に制定された「改正健康増進法」及び「神奈川県公共施設における受動喫煙防止条例」に係る取組として、県民向けにキャンペーンを実施するとともに、法及び条例の規制対象施設への戸別訪問実施や、法及び条例に関する各種相談に対応しました。

6 保健・医療・福祉人材の育成

保健衛生に対する専門的な知識の習得や技術の向上を図るために、保健福祉事務所職員、市町職員、保健・医療・福祉関係従事者等を対象として保健衛生研修を実施しました。

また、保健、医療、看護、福祉関係の実習生の受入れ指導を行いました。

7 医務関係事務

医療の適正化と事故防止のため、病院や診療所に対する立入検査、許認可事務等を行いました。

8 調査・統計・報告

衛生行政施策立案の基礎資料を得るため、各種厚生労働統計調査を実施しました。

9 献血の推進

関係機関・団体等と連携して、献血についての普及啓発や計画採血の推進に努めました。

10 地域保健師業務連絡会議等

保健師活動の質の向上と県・市町の保健師業務の連携を目的として、会議や研修を行いました。

11 地域包括ケア・在宅医療の推進

2025年を目途に、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、管内の市町が目指す地域包括ケアシステムの構築を支援するため、「県西地区地域包括ケアシステム推進行政担当者会議」、専門職向け「研修会」、一般向け「講演会」、「県西地区地域包括ケア会議・県西地区在宅医療推進協議会合同会議」を開催しました。

1 保健医療福祉の推進

(1) 県西地区保健医療福祉推進会議開催状況

開催日	内 容	会 場	出席者数
R1. 9. 2	1 令和元年度の地域医療構想調整会議の進め方について 2 県西地域の現状について 3 報告事項について	おだわら総合医療福祉会館 4階ホール	32
R1.12. 5	1 居宅や介護施設における在宅医療等の現状及び地域における医療・介護の連携体制の構築に係る課題について 2 公立・公的医療機関等に対する具体的対応方針の再検証要請について 3 足柄上病院と小田原市立病院の機能・連携方策に係る意見交換会について	小田原合同庁舎 2階 2D会議室	33
R2. 2. 3	1 居宅や介護施設における在宅医療等の現状及び地域における医療・介護の連携体制の構築に係る課題について 2 高齢者施設調査について 3 2025年に向けた対応方針及び公的医療機関等2025プランについて 4 足柄上病院と小田原市立病院の機能・連携方策に係る意見交換会について 5 令和2年度の地域医療構想調整会議について	小田原合同庁舎 2階 2D会議室	37
R2. 3.30	1 地域・職域連携の推進について 2 地域包括ケアシステムの推進について 3 県西地域災害医療対策について 4 県西地区地域医療体制について	— (書面開催)	38

(2) 病床機能分化・連携ワーキンググループ開催状況

開催日	内 容	会 場	出席者数
R1. 8. 5	1 「公的医療機関2025プラン」及び「2025年に向けた対応方針」の更新状況について 2 平成30年度病床機能報告結果(速報値)について 3 居宅や介護施設における在宅医療等の現状及び地域における医療・介護の連携体制の構築に係る課題について 4 県西地区保健医療福祉推進会議での協議予定事項について	おだわら総合医療福祉会館 4階ホール	44
R1.12.12	1 居宅や介護施設における在宅医療等の現状及び地域における医療・介護の連携体制の構築に係る課題について 2 医療法第7条第3項の許可を要しない診療所の取扱いについて 3 公立・公的医療機関等に対する具体的対応方針の再検証要請について 4 足柄上病院と小田原市立病院の機能・連携方策に係る意見交換会について	小田原合同庁舎 2階 2D会議室	40

(3) 県西地区保健医療福祉推進会議委員 (38人)

(令和2年3月31日現在 順不同)

氏名	団体名・役職	備考
渡邊 清 治	小田原医師会会長	会 長
飛 弾 康 則	足柄上医師会会長	副会長
杉 田 輝 地	小田原医師会病院会代表	
川 口 竹 男	小田原市立病院長	
牧 田 浩 行	足柄上病院長／足柄上医師会理事	
河 野 孝 栄	小田原歯科医師会会長	
海 瀬 光 美	足柄歯科医師会会長	
荒 井 俊 明	小田原薬剤師会会長	
田 中 正 行	全国健康保険協会神奈川支部企画総務部長	
篠 原 正 泰	健康保険組合連合会神奈川連合会副会長	
加 藤 節 子	神奈川県看護協会小田原支部	
渡 辺 雅 彦	東海大学医学部付属病院病院長	
小 松 幹一郎	神奈川県医師会理事 (地域医療担当)	
高 井 昌 彦	神奈川県医師会理事 (介護保険担当)	
南 康 平	神奈川県病院協会常任理事	
花 田 亮	小田原食品衛生協会会長	
小 野 康 夫	小田原市社会福祉協議会会長	
岩 田 芳 明	山北町社会福祉協議会会長	
時 田 佳代子	社会福祉法人小田原福祉会 潤生園 理事長・園長	
林 匡 子	社会福祉法人神奈川県社会福祉事業団 あしがら広域福祉センターひかりの里施設長	
大 水 健 晴	社会福祉法人宝安寺社会事業部ほうあん第二しおん所長	
木 村 秀 昭	小田原市自治会総連合会長	
吉 田 伯 子	食生活改善推進団体六彩会会長	
山 崎 文 明	小田原市福祉健康部長兼福祉事務所長	
大 塚 幸 夫	南足柄市福祉健康部長兼福祉事務所長	
森 聡	中井町健康課長	
矢 吹 高 広	大井町子育て健康課長	
川 本 博 孝	松田町子育て健康課長	
辻 和 雄	山北町保険健康課長	
亀 井 知 之	開成町保健福祉部長	
八 木 美栄子	箱根町福祉部長	
上 甲 新太郎	真鶴町健康福祉課長	
松 野 善 一	湯河原町保健センター所長	
千 葉 幸 則	小田原労働基準監督署長	
高 須 正 幸	小田原児童相談所長	
加 藤 彰 吾	県西教育事務所長	
丸 山 浩	小田原保健福祉事務所長	
渡 邊 直 行	小田原保健福祉事務所足柄上センター所長	

2 保健福祉サービス連携調整会議

	開催回数	掲載ページ	担当課
母子保健福祉委員会	1回・部会1回	P. 36	保健福祉課
歯及び口腔の健康づくり推進委員会	1回・部会2回	P. 40	
地域食生活対策推進協議会	1回	P. 44	
難病対策地域協議会	1回・部会1回	P. 67	保健予防課
地域精神保健福祉連絡協議会	1回	P. 75	保健予防課

3 健康危機管理

(1) 災害時医療救護

ア PPE着脱訓練の実施

実施月日 令和元年7月29日、8月8日、8月9日

実施場所 小田原保健福祉事務所集団活動室

参加者 転入職員等 14名

イ 県西地区地域医療体制対策会議

実施日	実施場所	内 容	参加団体・機関
R2. 3. 17	— (書面開催)	1 新型コロナウイルスについて 2 新型インフルエンザ等対策の実施状況について 3 新型インフルエンザ等対策に関する各市町の取組について 4 令和2年度の取組について	25団体 小田原医師会、足柄上医師会、小田原歯科医師会、足柄歯科医師会、小田原薬剤師会、小田原市立病院、県立足柄上病院、小田原警察署、松田警察署、小田原市消防本部、箱根町消防本部、湯河原町消防本部、小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、県西地域県政総合センター、小田原保健福祉事務所、小田原保健福祉事務所足柄上センター

ウ 新型インフルエンザ等対策訓練

実施日	実施場所	内 容	備考
R1. 11. 25	小田原保健福祉事務所足柄上センター衛生教育指導室	(机上訓練) 1 患者対応訓練及び受診調整 2 感染症指定医療機関への入院受入調整	参加者 16名

エ 県西地域災害医療対策会議

実施日	実施場所	内 容	参加団体・機関
R2. 3. 18	— (書面開催)	報告 1 令和元年台風15号に係る派遣保健師活動報告 2 令和元年台風19号への対応状況について 議題 1 令和元年度の取組について 2 令和2年度の取組について	28団体 小田原医師会、足柄上医師会、小田原歯科医師会、足柄歯科医師会、小田原薬剤師会、神奈川県看護協会、小田原警察署、松田警察署、小田原市消防本部、箱根町消防署、湯河原町消防本部、小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、小田原市立病院、県立足柄上病院、山近記念総合病院、小澤病院、県西地域県政総合センター、小田原保健福祉事務所、小田原保健福祉事務所足柄上センター

オ 県西地域災害医療対策会議研修会

実施日	実施場所	内 容	参加者数
R1. 11. 11	小田原合同庁舎 2階2DE会議室	講義 1 大規模地震が発生した場合に県西地域において想定される地震動と道路交通網の被害について 講師：東海大学 工学部 土木工学科 三神 厚 教授 2 県西地域で大規模地震が発生した場合の津波被害想定について 講師：東海大学 工学部 土木工学科 山本 吉道 教授 グループワーク 講師：東海大学 工学部 土木工学科 梶田 佳孝 教授	78

(2) 災害時要援護者対策

災害時の要援護者支援に係る保健師活動検討部会における活動状況

区 分	主な内容	回数
所内体制整備チーム	<ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者所内対応手順の見直し ・アクションカードの検討 	4
小田原市チーム	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師マニュアルの作成 	4
箱根町チーム	<ul style="list-style-type: none"> ・透析患者のマニュアル作成について ・EMIS訓練 ・箱根町台風19号の被災状況 	4
真鶴町チーム	<ul style="list-style-type: none"> ・町の取組についてヒアリングを実施 	1
湯河原町チーム	<ul style="list-style-type: none"> ・町の取組についてヒアリングを実施 	5

4 地域・職域の連携推進

(1) 県西部地区地域・職域連携推進協議会等

実施日	実施場所	内 容	参加団体・機関
R1.7.1	小田原合同庁舎2階 G会議室	部会 1 個別取組目標について 2 協議会構成員による連携事例について 3 その他	18団体・機関 (地域保健関係機関) 小田原市、南足柄市、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、小田原保健福祉事務所、小田原保健福祉事務所足柄上センター (職域保健) 小田原箱根商工会議所、南足柄市商工会、足柄上商工会、山北町商工会、小田原市橋商工会、真鶴町商工会、湯河原町商工会、小田原労働基準監督署、かながわ労働センター (保険者) 全国保険協会神奈川支部
R2.2.7	小田原合同庁舎3階3H会議室	部会 1 各構成機関における共通取組目標に係る個別取組目標の取組結果(報告) 2 「事業所における健康づくり等に関するアンケート調査」の集計結果報告及び分析 3 令和2年度の協議会取組方針(案)の検討 4 「今後の事業所における健康づくり等に関するアンケート調査」実施計画(案)の検討 5 「健康診断があなたの未来を変える！」リーフレット内容の検討	16団体・機関 (地域保健) 小田原市、南足柄市、松田町、山北町、箱根町、真鶴町、湯河原町、小田原保健福祉事務所、小田原保健福祉事務所足柄上センター (職域保健) 小田原箱根商工会議所、湯河原町商工会、小田原労働基準監督署、神奈川県労働安全衛生協会、かながわ労働センター湘南支所 (保険者) 全国健康保険協会神奈川支部
	— (書面開催)	協議会(書面開催) 1 「地域・職域連携推進ガイドラインの改訂について」 2 令和2年度協議会取組方針について 3 今後の「事業所における健康づくり等に関するアンケート調査」実施計画について 4 リーフレット「健康診断があなたの未来を変える！」の見直しについて	

(2) 普及啓発活動

開催日	内 容	参加者数
R1. 7. 22	健康保持増進講習会 1 「働き方改革における産業保健機能の強化」について 2 「事業場における労働者の健康情報等の取扱い規定を策定するための手引き」について 3 「産業保健活動をチームで進めるための実践的事例集」について 4 「企業における従業員の健康増進等	29
R1. 9. 3	第70回全国労働衛生週間小田原地区推進大会 1 所長祝辞 2 保健福祉事務所コーナー設置 肺年齢測定（測定者4名） 3 資料配布	175
R2. 2. 25	健康保持増進講習会 ・県西地区地域・職域連携推進協議会における共通取組目標の設定について ・大腸がん検診 啓発教材の紹介	17
通年	リーフレット「健康診断があなたの未来を変える」作成、配布	—

(3) 令和元年度 県西地区職域研修会

開催日	内 容	参加者数
通年	県西出前講座 ・生活習慣病について ・がん検診について ・たばこの害について ・若年性認知症リスク対策 ・自殺対策ゲートキーパー養成 ・感染症予防について ・食生活改善について	延べ103

5 たばこ対策・受動喫煙防止条例の推進

(1) たばこ対策

児童・生徒等に対する喫煙防止教育・啓発 ※令和元年度は実施無し

(2) 受動喫煙防止条例の推進

ア 条例周知キャンペーン

開催日	内 容	開催場所
H31. 4. 18	来場者、通行者への条例説明チラシ等の配布による周知	小田原合同庁舎
H31. 4. 19		小田原合同庁舎
R1. 5. 15		小田原市生涯学習センターけやき
R1. 5. 22		小田原市梅の里センター
R1. 5. 26		川東タウンセンターマロニエ
R1. 5. 30		小田原合同庁舎
R1. 6. 4		真鶴町民センター
R1. 6. 13		箱根町仙石原文化センター
R1. 6. 13		ハルネ小田原
R1. 6. 18		小田原合同庁舎
R1. 6. 27		湯河原観光会館
R1. 7. 23		小田原合同庁舎
R1. 8. 21		小田原合同庁舎
R1. 8. 25		イトーヨーカドー小田原店
R1. 9. 3		小田原市民会館
R1. 9. 6		小田原合同庁舎
R1. 9. 15		おだわらスポーツ&レクリエーションフェスティバル
R1. 9. 26		箱根町総合保健福祉センターさくら館
R1. 10. 3		ハルネ小田原
R1. 10. 15		国際医療福祉大学
R1. 10. 17		小田原合同庁舎
R1. 11. 19		令和元年度県西地域青少年社会環境健全化推進街頭キャンペーン及び小田原地区薬物乱用防止地域連絡会該当キャンペーン
R1. 11. 27		小田原合同庁舎
R1. 12. 9		積善会看護専門学校
R1. 12. 17		小田原合同庁舎
R2. 1. 15		小田原合同庁舎
R2. 1. 20		小田原市石橋公民館
R2. 1. 29		湯河原観光会館
R2. 2. 4		箱根町仙石原文化センター
R2. 2. 13		真鶴町民センター
R2. 2. 15・16		イトーヨーカドー小田原店
R2. 2. 19		小田原合同庁舎
R2. 2. 20	小田原合同庁舎	

イ 戸別訪問

訪問月	地 区	訪問件数
H31. 4	小田原市	33
R1. 5	小田原市・箱根町	51
R1. 6	小田原市・箱根町	44
R1. 7	小田原市・真鶴町	64
R1. 8	箱根町・湯河原町	74
R1. 9	箱根町	58
R1.10	小田原市	28
R1.11	小田原市	39
R1.12	小田原市	42
R2. 1	小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町	44
R2. 2	小田原市・箱根町	56
R2. 3	小田原市・箱根町	29
合 計	真鶴町・湯河原町	562

ウ 相談件数

	相 談 件 数 (実数)	相 談 内 容 (延数)										
		条 例 の 趣 旨 ・ 内 容	施 設 の 区 分	規 制 内 容	分 煙 基 準	分 煙 方 法	支 援 内 容	個 人 の 義 務	施 設 管 理 者 の 義 務	罰 則 関 連	そ の 他	延 件 数 (計)
総 数	89	78	0	0	0	0	1	0	9	0	1	89
電 話	67	60							6		1	67
来 所	22	18					1		3			22
その他	0											0

6 保健・医療・福祉人材の育成

(1) 保健衛生研修

研修名	実施日	内 容	参加者数
保健衛生研修	R1. 10. 21	「授乳・離乳支援ガイド」を読み解く 講師：相模女子大学栄養科学部健康栄養学科教授 堤 ちはる 氏	82

(2) 実習生の指導

ア 学生実習合同オリエンテーション

		実施日	学校数	参加者数
合同セミナー	前 期	R1. 4. 18	1	10
	後 期	R1. 9. 5	4	31
合同オリエンテーション	前 期	R1. 4. 19	8	42
	後 期	R1. 9. 6	7	39

イ 専攻別実習状況

	学校数	実習期間	実習生数	備 考
総 数	17	17	112	
医 師	1	1	10	東海大学医学部
保健師	4	6	9	慶應義塾大学、国際医療福祉大学、神奈川工科大学、北里大学
看護師	6	2	71	神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部、湘南平塚看護専門学校、積善会看護専門学校、小澤高等看護学院、横浜市病院協会看護専門学校、厚木看護専門学校第一
管理栄養士	4	5	15	神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部、鎌倉女子大学家政学部、文教大学健康栄養学部、相模女子大学栄養科学部
社会福祉士	1	1	1	神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部
歯科衛生士	1	2	6	新横浜歯科衛生士専門学校

(3) 医師臨床研修地域保健研修等

ア 医師臨床研修（地域保健研修）

医師法に基づく医師臨床研修制度における地域保健研修として医師を受け入れました。
受入れ医師数

	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	計
小田原市立病院					1			1

7 医務関係事務

(1) 医療施設数・人口10万対率

ア 市町別

(令和2年3月31日現在)

	病 院		一般診療所			歯科診療所		助 産 所		あんま・はり・灸		柔道整復		歯科技工所	
	数	率	数	(有床)	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
総 数	17	7.3	189	7	81.5	135	58.2	6	2.6	328	141.4	72	31.0	42	18.1
小田原市	13	6.8	157	6	82.6	112	58.9	5	2.6	239	125.7	57	30.0	35	18.4
箱根町	1	9.0	8		71.6	6	53.7			36	322.3	2	17.9		
真鶴町			3		43.8	2	29.2			10	146.1	2	29.2	3	43.8
湯河原町	3	12.6	21	1	88.2	15	63.0	1	4.2	43	180.7	11	46.2	4	16.8

※率は、県人口統計調査（各年10月1日現在）の人口により算出（以下（2）イまで同じ）

※有床診療所数は内数

イ 年次推移

	病 院		一般診療所			歯科診療所		助 産 所		あんま・はり・灸		柔道整復		歯科技工所	
	数	率	数	(有床)	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
平成26年	17	7.0	186	8	77.0	142	58.8	5	2.1	310	128.3	60	24.8	43	17.8
平成27年	17	7.1	191	8	80.2	143	60.0	6	2.5	312	130.9	62	26.0	43	18.0
平成28年	17	7.2	191	8	80.7	141	59.5	6	2.5	309	130.9	63	26.0	42	18.0
平成29年	17	7.2	191	8	81.1	141	59.9	6	2.5	319	135.4	67	28.4	42	17.8
平成30年	17	7.3	192	8	82.2	136	58.2	6	2.6	326	139.5	72	30.8	42	18.0
令和元年	17	7.3	189	7	81.5	135	58.2	6	2.6	328	141.4	72	31.0	42	18.1

(2) 病床数・人口10万対率

ア 市町別

	病 院										一般診療所		総 数	
	一 般		療 養		精 神		感 染		小 計		数	率	数	率
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率				
総 数	1,710	737.3	540	232.8	623	268.6	0	0	2,873	1238.8	79	34.1	2,952	1272.8
小田原市	1,453	764.3	117	61.5	623	327.7			2,193	1153.5	71	37.3	2,264	1190.9
箱根町			150	1343.0					150	1343.0			150	1343.0
真鶴町									0	0			0	0
湯河原町	257	1079.7	273	1147.0					530	2226.7	8	33.6	538	2260.3

※一般診療所の療養病床は20床

イ 年次推移

	病 院										一般診療所		総 数	
	一 般		療 養		精 神		感 染		小 計		数	率	数	率
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率				
平成26年	1,755	726.5	704	291.4	659	272.8			3,118	1290.8	82	33.9	3,200	1324.7
平成27年	1,755	736.5	704	295.4	659	276.6			3,118	1308.5	82	34.4	3,200	1343.0
平成28年	1,710	722.2	704	297.3	659	278.3			3,073	1297.8	82	34.6	3,155	1332.4
平成29年	1,710	725.8	704	298.8	647	274.6			3,061	1299.3	80	34.0	3,141	1333.3
平成30年	1,710	731.7	663	283.7	635	271.7			3,008	1287.1	94	40.2	3,102	1327.4
令和元年	1,710	737.3	540	232.8	623	268.6			2,873	1238.8	79	34.1	2,952	1272.8

(3) 医務関係許可等取扱い件数

		病 院	一 般 診 療 所	歯 科 診 療 所	X線 装 置	助産所	あんま・ はり・灸	柔道整復	歯 科 技 工 所	衛 生 検 査 所
総 数		55	205	28	179	0	44(15)	31	0	2
許 可 申 請	開 設		25	5						
	使 用	17	2							
	変 更	25	5							
	二ヶ所管理		6							
届 出	巡回診療	1	29							
	開 設		37	8	81		11(11)	3		
	変 更	12	60	6	17		23	24		
	休廃止・ 再開他		41	9	81		10(4)	4		2

※「あんま・はり・灸」欄の（ ）は、出張専門の届出数で外数

(4) 医療関係者数

(医師・歯科医師・薬剤師は平成28年12月31日現在)

(看護師・准看護師は平成30年12月31日現在)

	医 師	歯科医師	薬剤師	看護師	准看護師
総 数	433	193	675	1,831	329
小田原市	376	163	603	1,598	228
箱 根 町	12	9	11	52	26
真 鶴 町	2	3	6	2	4
湯河原町	43	18	55	179	71

※医師、歯科医師及び薬剤師数は「医師・歯科医師・薬剤師調査」、看護師及び准看護師数は、「業務従事者届」による。この調査及び届出は2年に1度なので上記数値は直近で最新のものの。

(5) 病院等立入検査

病院及び診療所が医療法その他の法令により規定された従事者数及び構造設備を有し、かつ清潔保持等適正な管理運営を行っているか、実態調査、書類審査を行いました。

種 別	実施時期	実施施設数
病 院	令和元年10月～2年 1月	17
診療所 (有床診療所・人工透析設備を有 する診療所)	令和元年10月～2年 1月	3

(6) 管内の病院及び救急診療所

名 称	標榜科目	許可病床数				開設年月	備考
		一般	精神	療養	合計		
国立病院機構箱根病院	内・神内・整・泌・リハ・歯	199			199	昭15. 6	
小林病院	内・消外・循・神内・外・整・脳外・小外・婦・泌・リハ・放・麻・歯・ペ外・リ・漢内・皮	103		60	163	昭26. 2	救急病院
間中病院	内・消内・整・脳外・皮・リハ・呼内・循内・外	90			90	昭26. 6	救急病院
小澤病院	内・神内・呼内・消内・循内・血内・腎透内・糖代内・リ・外・消外・整・婦・眼・皮・泌・リハ・麻ペ・歯口・呼外・脳外・乳外	202			202	昭27. 6	救急病院
曾我病院	内・精・歯		363		363	昭30. 10	
小田原市立病院	内・呼内・消内・循内・腎内・糖内内・小・精・神内・外・呼外・整・脳外・形・心血・産婦・眼・耳咽・皮・泌・リハ・放・病診・救・麻・消外	417			417	昭33. 6	救急病院
国府津病院	心内・精		260		260	昭37. 4	
山近記念総合病院	内・循内・外・整・脳外・形・産婦・眼・耳咽・皮・泌・リハ・麻・リ	152			152	昭37. 11	救急病院
永井病院	産婦	45			45	昭46. 9	救急病院
丹羽病院	内・外・肛・消内・消外	51			51	昭53. 1	救急病院
西湘病院	内・循内・消内・外・消外・整・形・美・脳外・婦・リハ・神内	45		57	102	昭55. 11	救急病院
小田原循環器病院	循内・腎内・整・心血・消外	97			97	昭56. 11	救急病院
太陽の門	内・小・神内・リハ	52			52	平14. 4	
箱根リハビリテーション病院	内・神内・リハ			150	150	昭45. 6	
湯河原病院	内・リ・整・脳外・形・リハ・麻・消外・婦	199			199	昭31. 3	救急病院
湯河原中央温泉病院	内			223	223	昭39. 7	
湯河原胃腸病院	内・胃・外・皮・肛・循内・心血	58		50	108	昭44. 3	
総 数		1,710	623	540	2,873		

救急診療所

高木整形外科医院	整・リハ	3		16	19	平30. 1	救急診療所
----------	------	---	--	----	----	--------	-------

休日急患診療所

小田原市 休日・夜間急患診療所	内・小・耳咽・眼				0	昭63. 11	
小田原市 休日急患歯科診療所	歯				0	昭63. 11	

8 調査・統計・報告

調査名	調査日等	対象
国民生活基礎調査（世帯票・健康票・介護票）	6月6日	5地区 (小田原市・湯河原町)
国民生活基礎調査（所得票・貯蓄票）	7月11日	今年度該当なし
社会保障・人口問題基本調査	7月1日	今年度該当なし
地域保健・健康増進事業報告	年度報	県・市町
医療施設動態調査	月報	病院・診療所
人口動態調査	月報	
病院報告（患者票）	月報	病院
衛生行政報告例（母体保護統計）	年度報	
医師・歯科医師・薬剤師調査	隔年	
歯科衛生士、歯科技工士並びに保健師、助産師、看護師及び准看護師の業務従事者届	隔年	
患者調査	3年毎	
受療行動調査	3年毎	
医療施設静態調査	3年毎	

9 献血の推進

(1) 市町別献血目標数・実績

	200m l		400m l		総 数	
	目標数(人)	実績(人)	目標数(人)	実績(人)	目標数(人)	実績(人)
総 数	169	258	5,647	5,356	5,816	5,614
小 田 原 市	155	243	5,217	4,922	5,372	5,165
箱 根 町	3	1	115	146	118	147
真 鶴 町	5	1	110	109	115	110
湯 河 原 町	16	13	205	179	211	192

(2) 年度別献血目標数・実績

	200m l		400m l		総 数	
	目標数(人)	実績(人)	目標数(人)	実績(人)	目標数(人)	実績(人)
平成23年	261	122	3,999	6,217	4,260	6,339
平成24年	146	254	4,704	5,902	4,850	6,156
平成25年	156	421	5,056	7,200	5,212	7,621
平成26年	265	382	5,005	7,092	5,270	7,474
平成27年	393	300	4,972	6,658	5,365	6,958
平成28年	310	278	5,876	6,062	6,186	6,340
平成29年	279	230	6,215	5,847	6,494	6,077
平成30年	171	243	5,769	5,523	5,940	5,766
令和元年	169	258	5,647	5,356	5,816	5,614

(3) 献血推進功労者表彰

献血運動に積極的に協力し他の模範となる実績を示した団体に対して表彰を行いました。

期 日 令和元年11月7日(木)
 会 場 小田原合同庁舎3F 3EF会議室
 内 容 小田原保健福祉事務所長表彰
 被表彰者 大和リース株式会社

10 地域保健師業務連絡会議等

(1) 地域保健師業務連絡会議

開催日	内 容	参加者数
R1. 5. 16	保健師業務連絡会 1. 平成30年度事業実績について 2. 令和元年度事業計画について 3. 災害時保健師活動について 4. その他 ・保健師研修について ・職域連携・生活主幹病対策強化モデル事業について ・保健医療データ活用事業について ・保健師の確保について ・市町村管理能力育成研修について ・地域保健師研究発表会について ・実習指導者講習会について	10
R1. 6. 26	地域保健師業務連絡会議 1 平成30年度地域保健師業務連絡会議実施結果について 2 令和元年度地域保健師業務連絡会議実施計画（案）について 3 各構成機関の保健師が重点的に取り組んでいく事業について 4 災害時の保健師活動について 5 その他 ・保健師の確保について ・職域連携・生活習慣病対策強化モデル事業について ・保健医療データ活用事業等について ・県主催研修会等への参加について ・地域保健師研究発表会について	23
R2. 2. 5	災害時の要援護者支援に係る保健師活動検討部会 1 台風上陸に伴う被災状況および要配慮者支援状況について 2 各市町、保健福祉事務所の取組状況および次年度の方針について 3 その他	25

※本連絡会議に設置した「災害時の要援護者支援に係る保健師活動検討部会」についてはP. 19に記載

(2) 研究・研修

ア 新任保健師研修会

開催日	内 容	参加者数
R1. 11. 19	事例検討会	15
R2. 1. 9	災害時の保健師活動の備え～今からできること、受援側の心得～	66

(3) 保健師業務

ア 家庭訪問

	総数	感染症	結核	精神障害	心身障害					生活習慣病		難病	小児特定				その他疾病	未熟児		妊産婦	その他
					1歳未満	6歳未満	18歳以下	39歳以下	40歳以上	39歳以下	40歳以上		1歳未満	6歳未満	18歳未満	18歳以上		1歳未満	1歳以上		
件数	279	39	169	18	1	1	1					31	1	4	1				1	1	

(訪問内容別再掲)

	精神障害			難病					介護保険	児童虐待	小児アレルギー疾患				高齢者虐待
	社会復帰	老人性認知症	アルコール	膠原病	血液系	循環器	神経系	消化器			喘息	膚炎	アトピー性皮膚炎	ギーの疑い	
件数	1	9						37		1				4	

イ 所内指導

	総数	感染症	結核	精神障害	老人性認知症	心身障害	障害児	生活習慣病	難病	小児特定	その他疾病	妊婦	産婦	未熟児	乳児	幼児	思春期	エイズ	女性の健康	その他
総数	4,331	1565	1912	42	53	0	4	5	351	116	7	0	0	1	2	1	14	221	37	0
面接	347	14	141		6		2		76	100	1			1	1	4	1			
電話	3,742	1544	1562	42	47		2	5	269	15	6				1	1	14	221	13	
文書	223	7	209						6	1										

11 地域包括ケア・在宅医療の推進

(1) 県西地区地域包括ケアシステム推進行政担当者会議

開催日	会場	内容	参加者数
R1. 7. 9	小田原合同庁舎 4階集団活動室	1 平成30年度合同会議の結果概要 2 令和元年度の取組について	18
R2. 2. 27	書面開催	1 令和元年度の活動報告 2 令和2年度の取組について	18

(2) 講演会（地域福祉コーディネーター事業と共同開催）

開催日	会場	内容	参加者数
R1. 12. 17	小田原合同庁舎 3階3EF会議室	講演：いつまでも自分らしくこの地域で暮らしていくには～介護予防と自立支援を通じた支え合いのまちづくり～ 講師：神奈川県介護支援専門員協会 副理事長 松川 竜也 氏	57

(3) 県西地区地域包括ケア会議・県西地区在宅医療推進協議会 合同会議

開催日	会場	内容	参加者数
R2. 3. 25	書面開催	1 令和元年度の活動報告 2 令和2年度の取組について	31

Ⅲ 保 健 福 祉 課

1 母子保健

慢性疾病児等の健康の保持と増進を図るため、個別又は集団による適切な保健指導を行うとともに、疾病に罹患している子どもが早期に適切な治療が受けられるよう、各種医療援護の事務を行いました。また、管内の母子保健の水準の確保や妊娠期からの虐待予防の体制づくりのために、母子保健福祉委員会や各担当者会議及び研修会を開催し、医療機関等、関係機関との連携を図りました。

平成 29 年度より、小児等在宅医療の推進部会において、在宅における医療的ケア児の療育について保健・医療・福祉等の多機関で連携して取り組むべき課題の抽出・整理・具体策を検討してきましたが、今年度は3年間の取組について評価を行いました。

2 歯科保健

管内における歯及び口腔の健康づくりを推進するため、委員会及び部会を開催しました。また、お口の健口体操の普及など歯及び口腔の健康づくりに主体的に取り組むオーラルフレイル健口推進員の育成と活動支援を行いました。う蝕発生リスクの高い乳幼児に対しては、う蝕の多発、重症化予防のための、検診・保健指導・予防処置を実施し、う蝕リスクの低減化を図りました。障がい児等に対しては、歯科疾患予防と合わせて、摂食機能発達支援を実施するとともに、在宅療養者等には訪問による口腔ケアを実施しました。

地域口腔ケア連携を推進するため、管内の病院看護師及び在宅医療・介護に従事する専門職に対する研修を開催するとともに、管内病院へ啓発リーフレットを配付し、その活用評価を実施しました。

3 栄養・食生活

地域の関係機関等と連携し、災害時の栄養・食生活支援を速やかかつ円滑に実施できるよう平常時からの支援体制整備を行うことを目的に地域食生活対策推進協議会を開催しました。食品表示法及び健康増進法に基づき栄養成分表示制度の普及啓発、特別用途食品制度の運用、健康保持増進効果等に関する誇大表示等の禁止に係る適正化指導を実施しました。また、健康増進法に基づき、特定給食施設等に対し適切な栄養管理の実施を目的に個別指導や講習会等を行いました。

4 がん・健康増進

健康増進事業は、各市町の実施状況を把握するためのヒアリングや健康増進計画の進行状況に合わせた支援を行いました。

継続事業として、健康づくりのためのデータ活用研修を市町村職員を対象に行いました。

地域企業におけるがん検診受診促進事業については、既存の事業や会議等を活用して、関係機関との連携を図るとともに、介護保険事業所実地指導において、受診状況の把握や受診勧奨などがん検診の普及促進を行いました。

また、がん検診普及啓発セミナーについては、大学・専門学校等の授業等を活用しながら実施しました。

5 地域福祉の事業

神奈川県地域福祉支援計画における3つの支援策の柱「ひとづくり・地域（まち）づくり・しくみづくり」に基づき、それぞれ地域福祉コーディネーター事業、バリアフリーの推進事業、権利擁護としての成年後見制度の普及啓発事業などに取り組みました。

また、地域住民の立場で情報提供、相談を行う民生委員・児童委員の活動に対して負担金を交付し、社会福祉に関する諸事業を行う市町社会福祉協議会との情報交換、事業協力など地域福祉の推進に努めました。

障害福祉相談員については、平成25年度から市町に事務移管されましたが、県では身体障害者・知的障害者相談員活動強化事業として相談員の相談対応能力の向上と相談員間の連携を図りました。

6 介護保険

公平・公正・適切な要介護認定、介護給付対象サービスの質の確保・保険給付の適正化を図るため、介護保険指定事業者等の集団指導講習会・実地指導・市町担当者連絡会議を実施しました。

7 母子・父子・寡婦福祉資金の貸付

母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づき、母子家庭及び父子家庭並びに寡婦の経済的自立の助成等のため、「母子及び父子並びに寡婦福祉資金の貸付決定」の事務を行いました。

8 福祉事務所の経理

生活保護法に基づき被保護者に対し、最低限度の生活を保障するとともに、その自立の助長に必要な経費を支給しました。重度の障害児者に特別障害者手当等の支給事務を行いました。適正かつ整合性のある経理事務執行に努めました。

1 母子保健

(1) 小児医療援護事務

ア 小児慢性特定疾病医療給付

小児慢性特定疾病医療費支給認定実施要綱に基づき、18歳未満(20歳未満まで年齢延長可能)の児童で特定の疾病に罹患し指定医療機関において治療を受けているものに対し、必要な医療の給付を行いました。

市町別給付決定件数

	悪性 新生 生物	慢 性 腎 疾 患	慢 性 呼 吸 器 疾 患	慢 性 心 疾 患	内 分 泌 疾 患	膠 原 病	糖 尿 病	先 天 性 代 謝 異 常	血 液 疾 患	免 疫 疾 患	神 経 ・ 筋 疾 患	慢 性 消 化 器 疾 患	染 色 体 又 は 遺 伝 子 に 変 化 を 伴 う 症 候 群	皮 膚 疾 患	骨 系 統 疾 患	総 数
総 数	27	15	5	29	19	1	13	3	3	2	19	19	3	1	2	161
小田原市	25	12	5	22	16	1	12	3	3	2	16	15	3	1	1	137
箱根町	2	1		1	1										1	6
真鶴町				1	1						2					4
湯河原町		2		5	1		1				1	4				14

イ 療育医療給付

児童福祉法に基づき、骨関節結核、その他の結核にかかっている18歳未満の児童で指定療育医療機関において入院治療を受けているものに対し、必要な医療費の給付を行うものですが、平成31年度実績はありません。

(2) 養育支援事業

発達や発育等の障害や疾病を持ち長期に療養を必要とする児とその保護者を対象に、児の健全な発育・発達を促進させ、併せて養育環境を整えることを目的に、関係機関と連携し適切な支援を実施しました。

ア 訪問指導・個別相談 (延数)

	訪問指導	所内指導	総 数
総 数	6	120	126
小児特定疾病	5	116	121
その他の疾病	1	4	5

イ 集団指導

療育または養育上の課題や発達段階に応じた講演会を開催しました。

開催日	内容・講師	対 象	参加者数
R1.7.30	病気をもちながら成長していく子どものこころのサポート 講師 神奈川県立こども医療センター 児童思春期精神科 医長 医師 庄 紀子 氏	当事者、家族、 関係機関等	18
R1.8.2	I型糖尿病の子どもの生活 ～子どもを支える 人に知ってほしいこと～ 講師 伊勢原協同病院 小児科部長 医師 石黒 寛之 氏	当事者、家族、 関係機関等	41

ウ 交流会

医療的ケア児及び長期在宅療養児と保護者の交流会「ぶどうの会」を開催しました。

開催日	内容・講師	対 象	参加者数
R1. 6. 19	第1回：講演と交流会 「家族でしておきたい災害時の備え～医療的ケアのある子を守るために～」 講師：神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科 教授 吉田 穂波 氏	当事者、家族、 関係機関等	40（当事者・家族14、関係機関26）
R1. 9. 11	第2回：ミニ講座と交流会 「スムーズな継続支援を受けるために～『まい♡らいふブック』活用法～」 講師：社会福祉法人 風祭の森 地域支援センターセンター長 大友 崇弘 氏		16（当事者・家族11、関係機関5）
R1. 11. 6	第3回：ミニ講座・親子遊び・交流会・個別相談 「遊びの中から生まれる育ち～こどもの心に寄り添いながら」 講師：めだかサロン代表 作業療法士 大石 則子 氏		13（当事者・家族6、関係機関7）
R2. 1. 15	第4回：交流会・親子遊び 「ゆっくりお話ししませんか？～フリートーク」		26（当事者・家族16、関係機関10）

(3) 妊娠・出産支援体制づくり事業

安心して、妊娠、出産ができる環境づくりのために、関係機関との会議を開催しました。また、児童虐待予防活動として、ハイリスク妊産婦支援の地域連携についての連絡会を開催しました。

ア 母子保健福祉委員会

効果的かつ円滑な母子保健福祉の推進を図るために、管内市町の母子保健福祉事業について、実績や課題等を検討しました。また、小児等在宅医療の推進部会において、在宅における医療的ケア児の療育について保健・医療・福祉等の多機関で連携して取り組むべき課題の抽出・整理・具体策を検討してきましたが、今年度は3年間の取組について評価を行いました。

	実施日	協 議 内 容	出席者数
委員会	R2. 3. 17 (書面開催)	母子保健福祉委員会 1 管内母子保健統計について 2 管内の母子保健福祉事業 (1) 市町の取組 (2) 保健福祉事務所の取組 3 妊娠期からの切れ目のない支援について (1) 子育て世代包括支援センター及び産後ケア事業について (2) 養育支援連絡票の活用状況及び妊娠期からの養育支援連絡票（県域統一版）について 4 小児等在宅医療の推進部会について 5 令和2年度 小田原保健福祉事務所母子保健事業について	11
部 会	R1. 10. 29	小児等在宅医療の推進部会 1 今年度の取組状況の報告 2 3年間の取組の評価、及び今後の取組について	18

イ 管内母子保健業務連絡会

管内の母子保健業務が円滑かつ効果的に行われ、さらに施策の向上を図るために開催しました。

実施日	内 容	対 象	出席者数
R1. 5. 22	1 母子歯科保健事業について 2 平成 30 年度母子保健事業の結果について	小田原市母子保健担当保健師等	15
R1. 5. 20	3 令和元年度母子保健事業の計画について 4 母子支援ケースの申し合わせ事項について	箱根町母子保健担当保健師等	7
R1. 5. 23	5 在宅における医療的ケア児の支援状況について 6 養育支援連絡票の活用状況について	真鶴町母子保健担当保健師等	8
R1. 5. 15	7 子育て世代包括支援センターについて 8 思春期保健事業について	湯河原町母子保健担当保健師等	6
R1. 9. 4	子育て世代包括支援センター設置に係る情報交換	真鶴町・湯河原町母子保健担当保健師等	8
R2. 2. 3	1 今年度の事業実施状況と次年度の計画について 2 ハイリスク母子の個別支援と管理体制：基準について 3 災害時の住宅における医療的ケア児への支援について	管内母子保健担当職員等	3

ウ 養育支援連絡票を活用する機関の連絡会

実施日	内 容	対 象	出席者数
R2. 2. 3	1 養育支援連絡票の活用状況の報告 2 養育支援連絡票にて連絡後の支援体制について 3 県域統一版養育支援連絡票について 4 乳幼児揺さぶられ症候群（SBS）予防教育について	管内母子保健担当保健師、産科医療機関看護師・助産師、児童相談所保健師等	21

エ 妊娠・出産支援体制づくり研修会

養育上の課題を持つ児及びその保護者等が地域で健康的な生活をするために研修会を開催しました。保健・医療・福祉等の関係機関と連携し、養育環境を整え、人材の育成を行いました。

開催日	内容・講師	対 象	参加者数
R1. 12. 11	周産期からの虐待予防～虐待する親への理解と対応～ 講師 社会福祉法人 子どもの虐待防止センター評議員 とよたまこころの診療所長 鷲山 拓男 氏	小田原医師会員、管内母子保健・児童福祉担当職員、管内病院職員等	62
R1. 12. 23	妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援をするために～若年の母親への支援に焦点をあてて～ 講師 首都大学東京 健康福祉学部 教授 安達 久美子 氏	管内母子保健担当保健師、母子保健相談支援専門員、管内病院職員等	12

R1. 12. 5	乳幼児揺さぶられ症候群（ＳＢＳ）予防プログラム医療機関等出張講座 1日目（主催は次世代育成課） 講義「ＳＢＳの発生機序と予防」 講師 認定NPO法人チャイルドファーストジャパン 理事長 医師 山田 不二子 氏	医療機関、市町母子保健担当・児童福祉担当、児童相談所、保健福祉事務所職員等	24
R1. 12. 26	乳幼児揺さぶられ症候群（ＳＢＳ）予防プログラム医療機関等出張講座 2日目（主催は次世代育成課） 演習「ＳＢＳ予防プログラムのデモンストレーションと検討」 講師 認定NPO法人チャイルドファーストジャパン 理事長 医師 山田 不二子 氏		16

(4) 思春期保健事業

思春期における心身の成長発達に関する問題等に対応するため、個別相談・集団指導を行いました。

ア 個別相談

	相談方法			相談者				相談内容(延数)										事後指導(実数)						
	電 話	面 接	総 数	本 人	父 母	そ の 他	総 数	身 体	性	妊 娠	結 婚	病 気	友 人	家 族	学 校	そ の 他	総 数	助 言 指 導	面 接 継 続	電 話 継 続	受 診 勧 奨	他 機 関 紹 介	そ の 他	総 数
総数	14	0	14	14	0	0	14	7	1	2	0	0	0	0	0	4	14	11	0	0	0	1	2	14
男	11		11	11			11	7	1							3	11	9					2	11
女	3		3	3			3			2						1	3	2				1		3

イ 集団指導

実施日	内容・講師	対 象・会 場	参加者数
R1. 5. 28	思春期健康講座 講師 小田原保健福祉事務所保健師 箱根町子育て支援課保健師	箱根町立箱根の森小学校5年生	40
R1. 7. 12		箱根町立箱根中学校1年生	62
R1. 12. 4		箱根町立仙石原小学校5年生	21
R2. 2. 25		箱根町箱根中学校3年生	62
R2. 3. 2		箱根町立湯本小学校5年生	14
R2. 1. 22	思春期保健研修会 「～思春期のからだところ～ ①思春期のからだ ②起立性調節障害、摂食障害へのかわり と受診のタイミング」 講師①小田原保健福祉事務所医師 ②神奈川県立精神医療センター 専門医療部長 磯崎 仁太郎 氏	小田原合同庁舎 小・中・高校教職員、行政職員	40
R1. 11. 1	未成年の喫煙防止教室 「お手伝いします あなたの健康づくり 未成年の喫煙防止」 講師 小田原保健福祉事務所保健師	箱根町立仙石原小学校5年生 6年生	38

(5) 不妊に悩む方への特定不妊治療費助成事業

神奈川県内の指定する医療機関で、特定不妊治療（体外受精・顕微授精）を受けた夫婦（いずれか一方が神奈川県内の市町村（横浜市、川崎市、横須賀市及び相模原市を除く。）に住所を有しているもの）に対して、治療費の助成を行う事業の進達業務を行いました。

申請件数 176件 助成件数 175件

(6) 生涯を通じた女性の保健相談等事業

不妊治療中の女性は様々な情報から不安、混乱、迷いが生じるが、その健康状態に応じて自己管理を行うことができるよう健康相談を行いました。

また、若い女性へ不妊について紹介し、自分のライフプランについて考える機会を提供しました。

望まない妊娠等により妊娠や出産に関する悩みを抱える方が、気軽に相談できるよう電話相談・支援窓口の普及啓発を行いました。

ア 健康相談（一般）

総数	相談方法			相談回数			相談者		把握経路			
	電話	面接	その他	初回	2回	3回以上	本人	その他	広報	市町	当所事業	その他
37	35			36	1		35	2	1		1	35

主訴区分（延数）											
総数	妊娠	避妊	不妊	性	メンタルケア	婦人科	更年期	性感染	泌尿器	その他	
40	3	2	1	3	2	5	2	1			21

事後指導（実数）							
総数	助言	専門相談	電話継続	訪問継続	医療機関紹介	他機関紹介	その他
37	32				3	2	

イ 集団指導

実施日	内容・講師	対象	会場	参加者数
H31.4.19	健康教育 「女子力全開ハッピーライフ支援事業」 講師 小田原保健福祉事務所保健師	実習学生	小田原合同庁舎	42
R1.7.9		小田原高校定時制生徒	小田原高校	63
R1.9.6		実習学生	小田原合同庁舎	38

ウ 周知

内容	普及啓発先	配布数
妊娠SOSかながわの普及啓発	管内行政機関、医師会、歯科医師会、薬剤師会、高等学校、大学、専門学校、鉄道会社、商業施設等	ポスター 474 カード 1,494

2 歯科保健

(1) 連携体制づくり

ア 歯及び口腔の健康づくり推進委員会

歯及び口腔の健康づくりに関わる関係者が協議・意見交換を行い、管内の歯及び口腔の健康づくり施策の推進を図るために開催しました。

	実施日	協議内容	出席者数
委員会	R2. 1. 30	1 報告 (1) 小田原保健福祉事務所地域口腔ケア連携推進事業について(報告) ア 令和元年度の取組について イ 口腔ケア普及啓発リーフレット等に関するアンケート結果について 2 情報提供(講義)「認知症と歯科」 神奈川県大学 山本龍生委員 3 議題 (1) 小田原保健福祉事務所管内における県計画の推進について ア 管内の歯科保健事業実施状況について イ 計画推進部会報告 ウ 計画推進に向けた令和2年度の取組について	14
口腔ケア部会	R1. 6. 19	1 口腔ケア普及啓発リーフレットの活用状況について 2 令和元年度地域口腔ケア連携推進研修会の実施内容について 3 口腔ケアリーフレットの活用評価方法について	5
計画推進部会	R1. 8. 28	1 神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進計画について 2 管内の歯科保健の現状と課題について 3 歯科保健施策推進のための今後の取組について	6

イ 小田原歯科医師会と保健福祉事務所打ち合わせ会

歯科医師会との連携を図り、管内の歯科保健対策を推進するために開催しました。

実施日	協議内容	出席者数
R1. 9. 5	1 令和元年度実施事業予定について (1) 保健福祉事務所から (2) 小田原歯科医師会から 2 その他	7

(2) 人材育成

ア オーラルフレイル健口推進員養成事業

8020運動をはじめとする歯及び口腔の健康づくりに主体的に取り組むオーラルフレイル健口推進員が、自主的な活動を円滑に実施できるよう育成研修を行いました。

実施日	内容・講師	参加者数
R1. 11. 20	1 受講終了証の授与	オーラル フレイル 健口推進 員 8 聴講 3
	2 講話「オーラルフレイルについて～食べて・笑って・語らうために～」 講師 当所歯科医師	
	3 先輩推進員の活動紹介 湯河原町推進員 4名	
	4 健口体操の実践方法（健口体操普及手帳を用いて）	
	5 媒体作成（舌体操）	
	6 みんなで話そう！	

*第2回（R2. 3. 2 開催予定）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

イ 摂食機能発達支援研修会

乳幼児に関わる保健・福祉等の関係者が、授乳・離乳の支援の在り方や摂食機能発達に係る理解を深め、適切な支援を行えるよう、研修会を令和2年2月26日に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。

ウ 歯科衛生士学校実習生指導

コース数	人数
2	6

エ その他

内 容	実施回数	人数（延数）
オーラルフレイル健口推進員活動支援	6	15
食育サポートメイト養成講座	1	18
国府津病院依頼研修	1	28
その他	7	9

(3) 専門的かつ技術的事業

ア 重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業

市町が実施する1歳6か月児健康診査・2歳児歯科健康診査等から把握された、う蝕ハイリスク幼児に対して、う蝕の多発、重症化を抑制するための指導、検診、予防処置を継続し、リスク要因の低減化を図りました。

(ア) 歯科検診・予防処置等の実施状況

実施回数	受診者数			予防処置者数(延数)		
	初診数	再診数	総 数	フッ化物	フッ化ジアンミン銀製剤	総 数
48	95	268	363	344	4	348

(イ) う蝕ハイリスク幼児の把握及び受診状況(市紹介初診者のみ)

事 業		健診等受診者数	ハイリスク 予約者数	受診者数	受診率 (%)
小田 原市	1歳6か月児健診	1,116	71	54	76
	2歳児歯科健診	1,073	52	37	71
	育 児 相 談	56	3	3	100
計		2,245	126	94	75

*上表以外に、保健福祉事務所事業から紹介1人あり対応

(ウ) 歯科検診受診結果事業別状況(初診者)

事業	初診者数	う歯の状況			重度う蝕リスク要因(延数)					
		う歯あり	う歯の疑い	う歯なし	離乳完了の遅れ	リスク食品頻回摂取	リスク飲料頻回摂取	口含み習慣	その他 歯垢多量、 歯質形成不全等	
小田 原市	1歳6か月児健診	54	7	5	42	23	1	10		24
	2歳児歯科健診	37	6	5	26	7	3	13		14
	育児相談	3			3	3				
保健福祉事務所事業		1	1			1				
計		95	14	10	71	34	4	23	0	38

イ 障害児者等歯科保健事業

障がい児者等は歯科疾患にかかりやすく治療には困難を伴う場合も多いことから、早期から継続的に歯科検診・歯科保健指導・予防処置等を実施しました。また、摂食機能発達の支援が必要な児への「食べ方相談」を行いました。

(ア) 歯科検診・予防処置等の実施状況

実施回数	受診者数		実施内容内訳(延数)						
	実人数	延人数	歯科検診	予防処置	歯科保健指導	摂食指導	栄養士指導	保健師指導	医療機関紹介
46	40	114	62	42	68	94	85	99	2

(イ) 年齢別受診者数

	3歳未満	3～6歳	7～15歳	16歳以上	総数
人数	26	13	1		40

ウ 在宅療養者等訪問口腔ケア推進事業

在宅で療養中の指定難病患者、小児慢性疾患児及び生活保護受給世帯の幼児・児童等を主な対象とし、訪問による歯科検診、保健指導、予防処置及び摂食機能発達の支援を行いました。

(ア) 疾患別訪問者数(実数)

	慢性疾患児	指定難病患者	その他	総数
人数	14	1	22	37

(イ) 年齢別訪問者数(延数)

	6歳以下	7～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上	総数
人数	19	23		2		44

エ 歯周病予防対策事業

歯周病予防に効果的なセルフケア対策として、歯間部清掃用具の活用推進を図るため、成人等を対象に歯間部清掃用具の正しい使用方法等について、実技指導を行いました。

回数	指導人数
4	245

オ 歯の健康づくり事業

県民の主體的な歯及び口腔の健康づくりを推進するため、子どもから高齢者まで全ての世代に共通し、県民自らが取り組む行動目標として掲げた「健口かながわ5か条」の普及を行いました。

回数	普及人数
29	1,246

カ フッ化物洗口普及啓発事業

永久歯のう蝕予防に効果的なフッ化物洗口法を地域に普及するため、体験指導等による情報提供を実施しました。

対象	実施回数	人数
個別		
集団	2	93
計	2	93

キ 地域口腔ケア連携推進事業（平成29年度～令和元年度実施）

管内における病院を起点とした地域口腔ケア連携を推進するため、病院の看護職員及び介護保険施設職員等を対象に口腔ケアに関する研修を行うとともに、口腔ケア普及啓発リーフレットの管内病院への周知・配付及び活用評価のためのアンケートを実施しました。

研修内容

実施日	内容・講師	参加者数
R1.10.24	1 講演「病院を起点とした口腔ケア連携の取組」 (1) 「地域口腔ケア連携推進事業について」 当所歯科衛生士 (2) 「小田原循環器病院における口腔ケアの取組」～院内の取組と地域連携～ 小田原循環器病院外来主任看護師 伊藤美紀子氏 (3) 「小田原循環器病院における口腔ケアの取組」～病棟における口腔ケア～ 小田原循環器病院摂食・嚥下チーム病棟看護師 齊藤茉莉絵氏 (4) 「山近記念総合病院における口腔ケアの取組」 山近記念総合病院看護師 石森 溪祐氏 (5) 「周術期等の口腔機能管理連携の実際（病院と歯科との連携強化に向けて）」 小田原歯科医師会地域医療委員会理事 西本幸仁氏 2 フロアーとの意見交換	40

(4) 健康教育

地域等からの依頼に応じて、健康教育を行いました。

回数	参加者数	内容件数（複数計上）				
		う蝕予防	歯周病予防	口腔機能発達支援	高齢者・療養者口腔ケア	その他
4	39	3	4		3	3

3 栄養・食生活

(1) 栄養・食生活対策事業

地域の関係機関等と連携し地域における災害時の栄養・食生活支援を速やかかつ円滑に実施できるよう、平常時からの支援体制整備を行うことを目的に地域食生活対策推進協議会を開催しました。

ア 地域食生活対策推進協議会

	実施日	協議内容	出席委員数
協議会	R2. 1. 30	テーマ「小田原保健福祉事務所管内版災害時栄養・食生活支援ガイドラインの作成について」 1 小田原保健福祉事務所地域食生活対策推進協議会取組状況 2 当所の災害への食生活支援の取組について 3 災害時の栄養・食生活支援活動について 4 小田原保健福祉事務所管内版災害時栄養・食生活支援ガイドラインの骨子(案)について 5 その他	11

(注)令和2年3月23日に予定していた実務担当者部会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた県の基本方針に基づき、令和2年度に延期になりました。

イ 栄養・食生活対策推進事業

地域における栄養・食生活活動を推進するために関係機関・団体と連携し、その取組みを支援し、地域における栄養・食生活対策の推進を図りました。

	集団指導		対象
	回数	参加数(延数)	
地域と連携した栄養・食生活対策	1	17	食育サポートメイト養成講座受講者等
関係団体と連携した栄養・食生活対策	5	231	一般住民
総数	6	248	

(2) 専門的栄養指導・食生活支援事業

難病患者、合併症患者、育児上の課題を持つ児及びその家族等に対し重症化予防や生活の質を高めることを目指し栄養指導や研修会等を実施しました。

ア 専門的栄養指導

	糖尿病	肥満	腎臓疾患	心疾患	難病	食物アレルギー	ハイリスク児	その他	総数
相談件数	1		1		1		83	7	93

イ 食生活支援担当者等研修会

地域での食生活支援に係わる関係者に対し研修会を行いました。

実施日	内容・講師	対象	参加者数
R2. 2. 13	講演 「高齢者の「食べる」と栄養状態改善のための食支援」 講師 SOMPOケアフーズ株式会社 栄養管理部 部長 麻植 有希子	病院、介護老人保健施設、介護老人福祉施設、社会福祉施設、その他施設の管理栄養士・栄養士及び食生活支援担当者	35

(3) 栄養表示等適正化推進事業

栄養表示制度の普及啓発や適正な表示のために講習会や相談等を行いました。

ア 普及啓発講習会

対 象	回 数	人 数	内 容
事 業 者	2	70	食品衛生責任者講習会
消 費 者			
給食施設			
そ の 他			
合 計	2	70	

イ 事業者に対する表示適正化指導（健康増進法）

		健康増進法			合 計
		特別用途食品	特定保健用食品	虚偽誇大表示	
事前相談・指導	件 数				
	延 回 数				
適正化指導	件 数			1	1
	延 回 数			2	2
	改善確認数			1	1
備 考					

ウ 事業者に対する表示適正化指導（食品表示法）

		食品表示法						合 計	
		栄養表示			栄養機能食品		機能性表示食品		
		加工食品	生鮮食品	添加物	加工食品	生鮮食品	加工食品		生鮮食品
事前相談・指導	件 数	89						89	
	延 回 数	146						146	
適正化指導	件 数	1						1	
	延 回 数	3						3	
	改善確認数	1						1	
備 考									

エ 消費者からの相談（健康増進法）

令和元年度該当なし

オ 消費者からの相談（食品表示法）

令和元年度該当なし

カ 表示食品調査

令和元年度該当なし

キ 立入調査・収去（健康増進法）

令和元年度該当なし

ク 立入調査・収去（食品表示法）

令和元年度該当なし

(4) 地域保健活動推進研修事業

地域において、食育及び栄養・食生活対策の推進に関わる関係機関・団体等の管理栄養士・栄養士等を対象に、専門的な知識、指導法の習得及び効果的な食育推進を図るよう講習会を実施しました。

実施日	内容・講師	対 象	参加者数
R1. 12. 20	講演 「減塩を中心とした生活習慣病予防 ～給食で実践できる減塩のコツ～」 講師 鎌倉女子大学 家政学部 管理栄養学科 講師 山田 康輔	病院、介護老人保健施設、 介護老人福祉施設、社会福 祉施設、事業所、その他施設 、旬の会（地域活動栄養士） 等の管理栄養士・栄養士及び 食生活支援担当者	22

(5) 特定給食等指導事業

給食施設に対して講習会や実地指導等を行い、給食利用者の健康づくりを推進しました。

ア 特定給食施設等講習会

給食施設の従事者、管理者等に対し講習会を実施し、栄養管理の向上を図りました。

	開催日	参加 施設数	参加 者数	内 容 ・ 講 師
全体講習会	R1. 6. 11	121	167	1 講演「給食における給与栄養目標量設定のポイント と目標栄養量充足のヒント」 講師 文教大学 准教授 渡邊 美樹 2 講演「給食施設の衛生管理について」 講師 小田原保健福祉事務所 食品衛生課 食品衛生監視員
種別講習会 (児童福祉施設)	R1. 9. 27	23	27	講演「子どもの食物アレルギー ～給食施設での食事 管理と災害時の対応～」 講師 昭和大学医学部小児科学講座 管理栄養士 長谷川 実穂

イ 栄養改善普及運動

「かながわ健康プラン21(第2次)」における栄養・食生活の目標のうち、食生活の基本である「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加」を推進するため、「主食・主菜・副菜をそろえた食事」をテーマとし、健康増進を目的とした給食施設である事業所と連携し、食生活支援を実施しました。

実施日	実施事業所	内 容	参加者数
R1. 9. 4	製造業	1 講話 「主食・主菜・副菜をそろえた食事、適正体重と必要なエネルギー、間食との上手な付き合い方について」 2 展示 身近な食品の栄養成分表示の展示、身近な飲み物に含まれている砂糖の量の展示、体脂肪1kgの模型の展示	24
R1. 9. 24	製造業	1 イベントブースの設置 主食・主菜・副菜をそろえた食事の展示、身近な食品の栄養成分表示の展示、身近な飲み物に含まれている砂糖の量の展示、体脂肪1kgの模型の展示 2 食生活クイズコーナー	98

R1. 10. 28	食品 製造業	1 講話 「主食・主菜・副菜をそろえた食事、適正体重と必要なエネルギー、間食との上手な付き合い方について」 2 展示 身近な食品の栄養成分表示の展示、身近な飲み物に含まれている砂糖の量の展示、体脂肪 1 kgの模型の展示	48
------------	-----------	---	----

ウ 給食施設個別指導

給食施設に対し、個別に実地指導、相談を実施しました。

	対 象 施設数	内 訳				指 導 回数計	
		管理栄養士 のみ	管理栄養士 及び栄養士	栄養士のみ	未配置施設		
管理栄養士必置 指定施設	学 校					0	
	病 院	3		3		3	
	介護保健施設					0	
	老人福祉施設					0	
	児童福祉施設					0	
	社会福祉施設					0	
	事 業 所	4	1	3		6	
	小 計	7	1	6		9	
1 日 7 5 0 食以上 1 回 3 0 0 食以上又は (指定施設を除く)	学 校	21	15	2	4	23	
	病 院					0	
	介護保健施設					0	
	老人福祉施設					0	
	児童福祉施設					0	
	社会福祉施設					0	
	事 業 所	2			1	1	2
	小 計	23	15	2	5	1	25
1 日 2 5 0 食以上 1 回 1 0 0 食以上又は (指定施設を除く)	学 校	12	5	2	5	12	
	病 院	8	1	7		8	
	介護保健施設	7	1	6		8	
	老人福祉施設	11	5	5	1	12	
	児童福祉施設	23	5	1	7	10	24
	社会福祉施設	2		1	1		2
	事 業 所	16	2		2	12	19
	そ の 他	7	3		2	2	10
小 計	86	22	22	18	24	95	
その他の給食施設	学 校					0	
	病 院	6	3	2	1	6	
	介護保健施設					0	
	老人福祉施設	4	2	1		1	5
	児童福祉施設	24	1		13	10	28
	社会福祉施設	7	3		2	2	8
	事 業 所	14	1	1	2	10	17
	矯 正 施 設	1				1	1
そ の 他	14	1	1	6	6	22	
小 計	70	11	5	24	30	87	
合 計	186	49	35	47	55	216	

(6) 市町支援

連携・連絡調整

管内の栄養改善業務が円滑に実施されるため業務連絡会を開催しました。

	回数	出席者	内容
管内栄養業務連絡会 (注)	2	管内市町栄養士等	市町栄養業務の連絡調整・検討等

(注)第2回(令和2年3月23日)については新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた県の基本方針に基づき書面開催としました。

(7) 人材育成

ア 管理栄養士課程実習生指導

管理栄養士課程実習生の指導等を行いました。

	コース数	学生数	期間
神奈川県立保健福祉大学	1	4	R1.5.27 ~ R1.5.31
鎌倉女子大学	1	4	R1.6.10 ~ R1.6.14
文教大学	1	3	R1.9.17 ~ R1.9.20
相模女子大学	1	4	R2.2.25 ~ R2.2.28

イ 地区組織等の育成

食生活改善推進団体「六彩会」等のボランティアが組織的に活動を展開できるようリーダーの育成指導を行うとともに、資質向上のための研修会等の援助を行いました。

食生活改善推進団体指導

指導回数	参加者数
1	1

4 がん・健康増進

(1) 健康増進事業の自己評価のヒアリング

市町の健康増進事業について前年度の実施状況を評価し、現年度の効果的な事業展開に資するため、市町の自己評価に対して聞き取り調査をしました。

実施日	内容	会場	出席者	
			市町	当所
R1.7.3	健康増進事業の自己評価に係るヒアリング	箱根町さくら館	箱根町保険健康課	保健福祉課 (歯科医師・歯科衛生士・管理栄養士・保健師)
R1.7.8		小田原市保健センター	小田原市健康づくり課	
R1.7.10		湯河原町保健センター	湯河原町保健センター	
R1.7.17		真鶴町役場	真鶴町健康福祉課	

(2) 健康づくりのためのデータ活用事業

昨年度、保健医療データなどを活用し、県と市町村が連携して地域特性等を分析および地域の課題抽出を行ったワークシートを用いて、健康課題から事業展開に向けての評価指標の置き方や計画立案方法について演習を通して習得する研修を行いました。

開催日	内 容・講 師	会 場	参加者数
R1. 10. 11	令和元年度 第 1 回 健康づくりのためのデータ活用地区別研修会 講師 国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科 教授 荒木田 美香子 氏	小田原合同庁舎	13
R1. 11. 25	令和元年度 第 2 回 健康づくりのためのデータ活用地区別研修会 講師 国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科 教授 荒木田 美香子 氏	小田原合同庁舎	16

(3) 地域企業におけるがん検診受診促進事業

関係機関と連携を図り、労務安全衛生協会や介護保険事業所などの職域分野に「がん検診」のリーフレットを配布し、がん検診の周知を行いました。

実施時期	周知先	リーフレット 配布数
R1. 6. 10	介護保険市町連絡調整会議	4
R1. 6. 11	特定給食施設講習会	176
R1. 6. 13	街頭労働相談	41
R1. 6. 14	湯河原町介護保険業者連絡会	80
R1. 7. 1	県西地区 地域職域推進協議会部会	28
R1. 9. 3	全国労働衛生週間小田原地区推進大会	175
R1. 11. 26	企業での禁煙教育	9
R1. 12. 10	企業での禁煙教育	60
R2. 2. 13	事業所訪問	11
R2. 2. 25	企業へのがん検診に関する講演会	23
R2. 3. 2	事業所訪問	5
R1. 6. 4～ R2. 2. 19	食品衛生講習会参加者	546
R1. 5. 16～ R2. 2. 21	介護保険事業所管理者及び職員	893

(4) がん検診普及啓発セミナー

ア 大学生等への子宮頸がん検診の健康教育

若い世代が、がん検診の大切さと検診への理解を深められるように、当所保健師とがん体験者が講師を担い、子宮頸がん検診の普及啓発を行いました。

開催日	対象	参加者数
H31.4.18	看護学生合同セミナー	10
R1.9.5	看護学生合同セミナー	30
R1.10.15	国際医療福祉大	86
R1.12.9	積善会看護専門学校	24

(5) 地域でのイベントにおけるがん検診普及啓発

地域のイベントで「がん検診」のリーフレットを配布し、がん検診の周知を行いました。

開催日	場所	内容	参加人数
R1.5.26	小田原市川東タウンセンターマロニエ	小田原市子育て支援フェスティバル 啓発用リーフレットの配布とアンケートの実施	118
R1.8.25	イトーヨーカドー	イトーヨーカドーハッピーライフフェア 啓発用リーフレットの配布	13
R1.9.15	小田原アリーナ	おだわらスポーツ&レクリエーションフェスティバル 啓発用リーフレットの配布とアンケートの実施	125
R1.9.26	箱根町総合保健福祉センター	箱根町健康福祉フェスティバル 啓発用リーフレットの配布とアンケートの実施	16

(6) 熱中症予防普及啓発

熱中症予防のため、ポスター掲示やチラシ配布、呼びかけによる注意喚起、予防及び対処法の普及啓発を行いました。

・保健事業や来庁者へのチラシ配布 1326部

5 地域福祉の事業

(1) 民生委員・児童委員

社会奉仕の精神をもって自主的に社会福祉の増進に努めるとともに、公的援護の実施に協力することを使命としている民生委員・児童委員の活動に対して、負担金を交付しました。

定数及び活動状況（定数は、平成31年4月1日現在）

	定 数			相談支援 件数	その他 活動件数	訪問回数	活動日数
	民生委員	主任児童 委員	総 数				
総 数	397	61	458	6,146	62,042	91,260	64,659
小田原市	287	52	339	4,399	56,758	84,188	55,392
箱 根 町	41	3	44	346	1,152	2,156	2,312
真 鶴 町	19	2	21	939	1,405	832	2,065
湯河原町	50	4	54	462	2,727	4,084	4,890

(2) 障害福祉相談員

平成25年4月1日から、障害福祉相談員の実施主体が県から市町村に事務委譲されました。

神奈川県身体障害者・知的障害者相談員活動強化事業として、相談員の相談対応能力の向上と相談員間の連携を図るために、障害福祉相談員を対象に研修会を実施しています。令和元年度は該当者が無く実績はありませんでした。また、障害福祉相談員の委嘱のための設置要綱作成について管内市町に対し支援を行いました。

(3) 神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例の普及啓発

福祉の街づくりをめざした「神奈川県福祉の街づくり条例」(平成8年4月1日施行)が改正され、「神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例(平成20年12月26日公布、平成21年10月1日施行)」となりました。

保健福祉事務所の再編に伴い圏域別普及啓発事業の実施要領を改正(平成26年4月1日)し幹事事務所の設定を廃止し、本所事業となりました。

出前体験講座を開催し、普及・啓発に努めました。

開催日	内容・講師	参加者数
① R1.8.19	夏休み自由研究応援企画 バリアフリー出前体験講座 講師：公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団職員	① 42
② R1.8.29		② 88

(4) 地域福祉コーディネーター

住民による主体的な活動や、地域福祉の推進の役割を果たす人材である地域福祉コーディネーターは、神奈川県地域福祉支援計画の中で「ひとつづくり」の柱に位置づけられています。地域の社会環境の変化やそれに対応する社会保障施策の急速な整備に呼応して、地域福祉を推進する人材を養成・育成するとともに、福祉のコミュニティづくりを推進し、地域包括ケアシステムの構築にあたって欠かせない地域住民の自助・互助への普及啓発を進めるため、在宅医療・介護連携推進事業と共同で地域住民向けの講演会を開催しました。

開催日	内容・講師	参加者数
R1.12.17	講演：いつまでも 自分らしく この地域で 暮らしていくには ～自立支援と介護予防を通じた支え合いのまちづくり～ 講師：（一社）神奈川県介護支援専門員協会 副理事長 松川 達也 氏	50

6 介護保険

(1) 介護保険指定事業者指導

平成12年度から介護保険法が施行され、介護給付対象サービスの質の確保、保険給付の適正化を図るため介護保険指定事業者等の指導を実施しました。

ア 集団指導講習会

実施年月日 令和2年9月12日他
 実施場所 小田原市生涯学習センターけやき
 他県内4か所
 出席事業所 218事業所（小田原保健福祉事務所管内事業所数）

イ 実地指導

実施期間 令和元年5月から令和2年2月まで

サービス種別	対象事業所数	実地指導 事業所数	小田原市	箱根町	真鶴町	湯河原町
指定訪問介護事業	59	5	3	1		1
指定訪問入浴介護事業	7(3)	2(1)	2(1)			
指定訪問看護事業	27(27)	8(8)	5(5)	2(2)		1(1)
指定訪問リハビリテーション事業	2(2)	1(1)	1(1)			
指定通所介護事業	42	8	5			3
指定通所リハビリテーション事業	8(6)	5(3)	4(2)			1(1)
指定短期入所生活介護事業	14(14)	1(1)	1(1)			
指定短期入所療養介護事業	7(6)	3(2)	3(2)			
指定特定施設入居者生活介護事業	23(22)	6(6)	4(4)	1(1)	1(1)	
指定福祉用具貸与事業	9(9)	2(2)	2(2)			
指定特定福祉用具販売事業	9(9)	2(2)	2(2)			
指定介護老人福祉施設	13	1	1			
介護老人保健施設	7	3	3			
指定介護療養型医療施設						
介護医療院	2	2		1		1
計	229(98)	49(26)	36(20)	5(3)	1(1)	7(2)

注1 () 書きは指定介護予防事業所で外数

注2 医療みなしは含まない

注3 対象事業所数は、令和2年3月31日現在

(2) 介護保険市町担当者連絡会議

実施回数 1回（令和元年6月10日）
 対象 管内1市3町

7 母子・父子・寡婦福祉資金の貸付

母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づき、母子家庭及び父子家庭並びに寡婦の経済的自立の助成、その児童の福祉の増進等のため、母子及び父子並びに寡婦福祉資金の貸付を行いました。

		事業開始	事業継続	修学	技能修得	修業	就職支度	医療介護	生活	住宅	転宅	就学支度	結婚	児童扶養	総数
総数	母子	0	0	23	0	5	0	0	1	0	0	26	0	0	55
	父子	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	7
	寡婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	26	0	5	0	0	1	0	0	30	0	0	62
小田原市	母子			22		5			1			23			51
	父子			3								4			7
	寡婦														0
箱根町	母子														0
	父子														0
	寡婦														0
真鶴町	母子														0
	父子														0
	寡婦														0
湯河原町	母子			1								3			4
	父子														0
	寡婦														0

8 福祉事務所の経理

(1) 生活保護費等支給事務

生活保護法による被保護者に対し、その生活の困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、その自立の助長に必要な経費を支給しました。

(2) 特別障害者等手当支給事務

ア 特別障害者手当

日常生活に常時介護を要する在宅の重度障害者に対し、その障害により生ずる特別な負担の一助として手当を支給しました。

イ 障害児福祉手当

日常生活に常時介護を要する在宅の重度障害児に対し、その障害により生ずる特別な負担の一助として手当を支給しました。

ウ 福祉手当(経過措置)

特別障害者手当と障害基礎年金を受けないことができない重度障害者に対し、その障害により生ずる特別な負担の一助として手当を支給しました。

IV 保健予防課

1 感染症対策

感染症法に基づく発生届の受理時や集団発生時に、積極的疫学調査や保健指導を実施し、感染症のまん延防止に努めました。また、管内の関係機関と連携し、感染症のまん延防止及び迅速かつ適切な対応がとれるよう、地域全体の感染症対策の推進を図ることを目的に対策連絡会議を開催しました。

蚊媒介感染症対策の一環として、蚊の生息調査を実施しました。

令和2年1月の中国武漢市を発端とした新型コロナウイルス感染症について、その相談体制、検査体制を整備しました。

2 結核予防対策

感染症法に基づき、結核患者及びその家族等に対する保健指導を行うとともに、医療機関、薬局等と連携して、患者が治療を完遂できるよう服薬支援、医療機関を中心とした関係者に研修会を開催しました。

また、患者家族等の接触者に対し、健康診断を実施し、結核の早期発見・まん延防止に努めました。

3 エイズ予防・性感染症予防対策

エイズ相談検査を実施するとともに、青少年を対象にエイズ・性感染症の正しい知識を普及するための講演会、パンフレットの配布等の予防啓発事業を実施しました。

また、秋のレッドリボン月間（世界エイズデー）に臨時エイズ検査を実施し、小田原合同庁舎1階において、エイズ予防啓発パンフレットの掲示、予防啓発グッズを配架・配布しました。

4 難病対策

難病患者への医療援護事務を行うとともに、難病患者地域支援ネットワーク事業として、講演会、つどい、訪問相談事業等を実施しました。また、管内の支援体制の整備について協議をするため、難病対策地域協議会を開催しました。

医療依存度の高い神経難病等患者及び介護者の療養支援を目的とする在宅難病患者緊急一時入院の利用にあたって、申請受付を行うとともに療養相談を行い、地域の人材育成として、在宅難病患者保健福祉従事者等研修を実施しました。

5 肝疾患対策

ウイルス性肝炎の早期発見と二次感染予防のため検査を実施しました。

また、B型ウイルス性肝炎に対して行われるインターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療やC型ウイルス性肝炎の根治を目的としたインターフェロン治療及びインターフェロンフリー治療の実施に対する医療援護事務を行いました。

6 原爆被爆者援護

原爆被爆者及び被爆者のこどもを対象に、健康手帳等の申請等に係わる経由事務及び健康診断を実施しました。

7 骨髄ドナー登録

白血病等の血液難病患者にとって有効な治療法である骨髄移植を推進するため、登録受付を行いました。

8 認知症疾患対策

認知症疾患相談事業として、専門医・保健師等による相談・訪問指導を実施し、適切な診断・

治療を受けるための指導、療養生活支援、家族に対する保健指導を行うとともに若年性認知症対策として家族交流会を開催しました。

9 精神保健福祉対策

「措置入院者の退院後支援」と「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」の二つを大きな柱として、業務を行いました。

措置入院者には、できるだけ入院中に本人に面接し退院後支援の説明をし、退院後の医療や生活の支援を継続できるよう心掛けました。

地域包括ケアシステムの構築の一つとして、この地域で進められてきた長期入院患者の地域移行・地域定着について、長期任意入院者患者調査を行い、その結果を病院や行政等と共有・協議しました。個別支援ケースは、ワーキング（ケア会議）を開催し支援を協議しました。

その他、精神疾患の早期発見・早期治療を図るため、専門医・福祉職・保健師による相談・訪問を行いました。また、関係機関や団体との連携を図るため、会議を開催するとともに関係団体への支援を実施しました。

1 感染症対策

(1) 感染症発生状況

	発生件数	患者数	無症状病原体保有者数	接触者検便延数	備考
総数	51	49	2	24	
1類感染症					
2類感染症					
3類感染症	4	4		24	腸管出血性大腸菌感染症 4
4類感染症	8	8			つつが虫病 3 レジオネラ症 5
5類感染症	37	35	2		アメーバ赤痢 4 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 3 急性弛緩性麻痺 1 急性脳炎 4 劇症型溶結性レンサ球菌感染症 3 後天性免疫不全症候群 1 侵襲性肺炎球菌感染症 2 水痘（入院例） 1 破傷風 1 梅毒 6 百日咳 10 風しん 1
指定感染症	2	2			新型コロナウイルス感染症

※2類感染症は結核を除く数

※5類感染症は全数把握のみ

(2) 感染症診査協議会感染症部会

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく入院勧告の診査等のため、必要に応じ開催しました。

ア 開催状況

開催回数 10回

イ 診査の状況

区分	診査件数	入院勧告	入院延長	就業制限
法第20条	18	10	8	
法第18条 *	0			

(3) 通報等に伴う調査

	通 報 件 数	調 査 者 数	患 者 ・ 保 菌 者 数	行 政 検 便 延 件 数
総 数	5	5	0	0
検疫所からの通報				
県域外等からの通報	5	5		

(4) 集団かぜによる学級閉鎖・学年閉鎖状況

	令 和 元 年 度			平 成 30 年 度		
	施設数(実)	施設数(延)	欠 席 者 数	施設数(実)	施設数(延)	欠 席 者 数
総 数	9	9	89	16	21	191
幼 稚 園				1	1	12
小 学 校	7	7	72	13	16	166
中 学 校						
高等学校	2	2	17	1	1	10
特別支援学校				1	3	3

(5) 社会福祉施設等における感染症報告に伴う報告・相談状況

疾患名	施設種別	件数
インフルエンザ	高齢者施設	4
	障害者施設	2
	児童関係施設	1
感染性胃腸炎		2
計		9

(6) 感染症対策連絡会議

開催日	内容	参加者
R2. 2. 5	1 新型コロナウイルス感染症について 2 東京2020大会に向けての地域の感染症対策について 3 災害時における感染症対策について 4 小田原保健福祉事務所管内感染対策ネットワーク（仮称）について	17名 小田原医師会 小田原市立病院 市町消防本部 市町保健担当課 当所
R2. 2. 18	1 新型コロナウイルス感染症について 2 その他	15名 小田原医師会 小田原市立病院 市町消防本部 市町保健担当課 当所

(7) 蚊の生息調査 (於：小田原市上府中公園 方法：CO2 トラップによる調査)

	R1. 6. 21 ～22	R1. 8. 22 ～23	R1. 9. 19 ～20	R1. 10. 17 ～18	総計
総計	52	23	42	26	143
遊歩道休憩所	19	16	14	7	56
野球場東	33	7	28	19	87
(再掲)遊歩道休憩所	19	16	14	7	56
ヒトスジシマカ(雌)		4	6		10
アカイエカ群(雌)	19	5	6	7	37
その他		7	2		9
(再掲)野球場東	33	7	28	19	87
ヒトスジシマカ(雌)		2	7		9
アカイエカ群(雌)	32	5	18	19	74
その他	1		3		4

(7月は実施せず)

ウイルス検査は、全て不検出
 デングウイルス・ジカウイルス・日本脳炎ウイルス
 ウエストナイルウイルス・チクングニアウイルス

(8) 感染症研修会

開催日	対象	テーマ	講師	会場	参加者数
R1. 6. 13	事業所職員	感染症について	当所 保健師	事業所	2
R1. 7. 29 8. 8 8. 9	当所職員	防護服の着脱訓練	当所 保健師	小田原保健 福祉事務所	16
R1. 10. 10	介護保険事業所、 保育園・幼稚園・認定 こども園の職員	施設における感染症対策 について ～普段の予防と 発生時の対応～	当所 医師 保健師	小田原 合同庁舎	40
R1. 11. 8	大学医学生	感染症について	当所 保健師	小田原保健 福祉事務所	11
R2. 1. 23	小田原県税事務所 衛生委員会	冬期に流行する感染症と その対策	当所 医師	小田原 合同庁舎	8

(9) 個別保健指導

方法	訪問	面接	電話	文書・メール	計
件数	34	14	1,579	7	1,634
(内新型 コロナ関係)	12	6	1,372		1,390

(10) 手洗いチェッカーの貸出

事業所区分	介護保険事業所	その他
件数	2	

2 結核予防対策

(1) 感染症診査協議会結核部会

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく入院勧告の診査等のため、定例的（第2・4水曜日）に開催するとともに必要に応じ臨時開催しました。

ア 開催状況

	定例開催	臨時開催	計
開催回数	24	5	29

イ 診査の状況

区分	診査件数	入院勧告	入院延長	就業制限	公費負担承認	公費負担不承認	公費負担保留
法第20条	32	9	23				
法第18条 *	0						
法第37条の2	78				78		

*診査分の他、報告5件あり。足柄上センター分を含む。

(2) 結核患者の状況

ア 登録患者数

(ア) 受療別・市町別登録患者数

(令和元年12月31日現在)

		総数	活動性結核			肺外結核活動性	不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症(別掲)
			肺結核活動性						
			登録時喀痰塗抹陽性	登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他				
総数		66	1	5	0	2	40	18	25
受療別	入院	1	1						
	在宅医療	8		4		2		2	6
	経過観察	55					40	15	19
	不明	2		1				1	
市町別	小田原市	52	1	5		1	32	13	20
	箱根町	4				1	1	2	1
	真鶴町	2					2		3
	湯河原町	8					5	3	1

(イ) 年齢階級別登録患者数

(令和元年12月31日現在)

	総数	活動性結核				肺外結核活動性	不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症(別掲)
		肺結核活動性			登録時菌陰性その他				
		登録時喀痰塗抹陽性	登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他					
総数	66	1	5	0	2	40	18	25	
0～4歳	0								
5～9歳	0								
10～14歳	0								
15～19歳	0								
20～29歳	8		1			2	5		
30～39歳	3					3		3	
40～49歳	4					3	1	2	
50～59歳	7		2			4	1	6	
60～69歳	8				1	7		2	
70～79歳	16		2		1	9	4	5	
80歳以上	20	1				12	7	7	

(ウ) 新登録患者数

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

	総数	活動性結核				肺外結核活動性	潜在性結核感染症(別掲)
		肺結核活動性			登録時菌陰性その他		
		登録時喀痰塗抹陽性	登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他			
総数	24	8	10	1	5	21	
0～4歳	0						
5～9歳	0						
10～14歳	0						
15～19歳	0						
20～29歳	2		2			2	
30～39歳	0					2	
40～49歳	2		2			1	
50～59歳	2	1	1			4	
60～69歳	2		1		1	1	
70～79歳	6	2	2		2	2	
80歳以上	10	5	2	1	2	9	

(エ) 結核患者登録率の推移（人口10万対）

	神奈川県		管内	
	登録数	登録率	登録数	登録率
平成27年	3,426	37.5	72	30.2
平成28年	3,213	35.1	79	33.4
平成29年	3,028	33.1	77	32.7
平成30年	—	—	84	36.0
令和元年	—	—	66	28.5

(オ) 結核り患率の推移（人口10万対）

	神奈川県		管内	
	新登録数	り患率	新登録数	り患率
平成27年	1,311	14.4	24	10.1
平成28年	1,192	13.0	40	16.9
平成29年	1,143	12.5	27	11.5
平成30年	—	—	33	14.1
令和元年	—	—	24	10.3

(カ) 結核有病率（人口10万対）

	神奈川県		管内	
	活動性結核	有病率	活動性結核	有病率
平成27年	922	10.1	17	7.1
平成28年	785	8.6	30	12.7
平成29年	734	8.0	14	6.0
平成30年	—	—	23	9.8
平成31年 (令和元年)	—	—	8	3.4

(3) 健康診断

結核感染の早期発見を目的として、接触者健診を行いました。

また、結核患者登録票を基に、必要な者に対し管理検診を実施しました。

		実人数	QFT 検査 (延べ)		エックス線直接 撮影 (延べ)		ツベルクリン 反応 (延べ)		結果		
			当所	医療 機関	当所	医療 機関	当所	医療 機関	患者 発見	潜在性結 核感染症	要経過 観察
接触者 健診	家族	29	37	1		2			3	2	1
	その他	103	132			3			4	1	3
管理検診		0									

(4) 保健指導

ア 実施状況

適切な医療の確保、医療中断の防止、患者の内服支援、家族・接触者に対する感染予防、発病予防等の保健指導を実施しました。

訪問		所内指導（延べ）			
実人数	延べ人数	電話	面接	文書	計
52	154	1,213	69	88	1,370

イ 保健所DOTS実施状況（対象 59名）

	訪問	面接	電話	薬局
実人数	29	13	11	6
延べ人数	82	33	54	31

※電話での内服確認は、他疾患入院中等の患者に対して実施しました。

ウ 薬局DOTS実施状況

公益社団法人小田原薬剤師会と協力し、薬局において患者の内服支援を実施しました。

(ア) 登録薬局数

	令和元年度	平成30年度
登録薬局数	40	39

(イ) 薬局DOTS実施者数

	令和元年度	平成30年度
実施者数	6	11

(5) 研修

ア 結核医療従事者研修

開催日	内容	講師	会場	参加者数
R1.12.3	昨今の結核対策の課題、特に外国出生者の結核の現状について	公益財団法人結核予防会 結核研究所 対策支援部長 太田 正樹氏	神奈川県立 足柄上病院	38

イ 施設等での普及啓発活動

対象	内容	回数	参加者数
県民	ポスター等による 結核の知識、情報提供	1	—
介護保険サービス事業所 及び管内小規模事業所	パンフレット等による 結核の知識、情報提供	1	120

3 エイズ予防・性感染症予防対策

(1) エイズ相談・検査

ア エイズ相談・検査実施状況

医師・保健師による随時相談、検査は月1回水曜日に匿名、予約制で実施しました。

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度
相談件数	392	442	323	329	255	160	172	221	143
検査実施数	108	115	80	83	69	52	56	101	98

イ エイズ検査（性・年齢別）実施状況

	0～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	合計
総数	4	28	33	19	7	7	98
男	3	17	26	14	5	6	71
女	1	11	7	5	2	1	27

(2) エイズ予防啓発事業

開催日	内 容	会 場	参加者数
H31. 4. 19	看護学生へ 予防啓発パンフレットの配布	小田原合同庁舎	42
R1. 7. 1	地域職域協議会構成委員へ エイズ検査のちらしを配布	小田原合同庁舎	30
R1. 9. 7	看護学生へ 予防啓発パンフレットの配布	小田原合同庁舎	30
R1. 11. 18～12. 13 (秋のレッドリボン月間、 世界エイズデー)	予防啓発パンフレットの配架	小田原合同庁舎	100

4 難病対策

(1) 特定医療費（指定難病）医療受給者証交付件数

平成26年12月31日までは56疾患の難病に対して助成を実施していましたが、平成27年1月1日より「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行され、現在333疾患が指定されています。

指定難病医療受給者証交付件数（令和2年3月31日現在）※管内に患者がいる疾患のみ掲載													
告示番号	指定難病名	小田原市	箱根町	真鶴町	湯河原町	計	告示番号	指定難病名	小田原市	箱根町	真鶴町	湯河原町	計
1	球脊髄性筋萎縮症	3	1	0	1	5	67	多発性嚢胞腎	16	2	1	2	21
2	筋萎縮性側索硬化症	20	0	0	1	21	68	黄色靭帯骨化症	4	1	0	1	6
3	脊髄性筋萎縮症	2	1	0	1	4	69	後縦靭帯骨化症	43	4	1	6	54
4	原発性側索硬化症	0	1	0	0	1	70	広範脊柱管狭窄症	1	0	0	3	4
5	進行性核上性麻痺	11	0	0	0	11	71	特発性大腿骨頭壊死症	37	5	0	1	43
6	パーキンソン病	199	14	7	38	258	72	下垂体性ADH分泌異常症	3	0	0	1	4
7	大脳皮質基底核変性症	3	0	0	1	4	74	下垂体性PRL分泌亢進症	3	0	0	0	3
8	ハンチントン病	0	0	0	1	1	75	クッシング病	1	0	0	0	1
11	重症筋無力症	29	0	0	4	33	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	4	1	1	1	7
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	28	2	2	8	40	78	下垂体前葉機能低下症	17	1	0	4	22
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多発性運動ニューロパチー	6	0	1	2	9	83	アジソン病	2	0	0	0	2
15	封入体筋炎	1	0	0	0	1	84	サルコイドーシス	8	0	2	3	13
16	クローウ・深瀬症候群	1	0	0	0	1	85	特発性間質性肺炎	23	1	2	4	30
17	多系統萎縮症	17	0	0	2	19	86	肺動脈性肺高血圧症	5	0	0	1	6
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	44	4	1	5	54	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	7	0	0	1	8
19	ライソゾーム病	3	1	0	0	4	89	リンパ脈管筋腫症	1	0	0	0	1
21	ミトコンドリア病	4	0	0	1	5	90	網膜色素変性症	41	2	1	5	49
22	もやもや病	16	2	0	2	20	93	原発性胆汁性胆管炎	10	2	1	3	16
23	プリオン病	1	0	0	0	1	94	原発性硬化性胆管炎	1	0	0	0	1
24	亜急性硬化性全脳炎	1	0	0	0	1	95	自己免疫性肝炎	4	0	0	2	6
26	HTLV-1関連脊髄症	1	0	0	0	1	96	クローン病	81	3	0	6	90
28	全身性アミロイドーシス	5	0	0	0	5	97	潰瘍性大腸炎	176	12	4	18	210
34	神経線維腫症	5	0	0	0	5	107	若年性特発性関節炎	0	1	0	0	1
35	天疱瘡	3	0	0	1	4	111	先天性ミオパチー	2	0	0	0	2
37	膿疱性乾癬(汎発型)	2	0	0	0	2	113	筋ジストロフィー	16	3	0	1	20
40	高安動脈炎	4	0	0	0	4	117	脊髄空洞症	1	0	0	0	1
41	巨細胞性動脈炎	1	0	0	0	1	118	脊髄髄膜瘤	1	0	0	0	1
42	結節性多発動脈炎	2	0	1	0	3	148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	1	0	0	0	1
43	顕微鏡的多発血管炎	10	2	2	0	14	157	スタージ・ウェーバー症候群	1	0	0	0	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	5	0	0	0	5	158	結節性硬化症	1	0	0	0	1
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	5	0	0	0	5	160	先天性魚鱗癬	0	2	0	0	2
46	悪性関節リウマチ	4	0	0	0	4	162	顎天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	4	0	0	1	5
47	バージャール病	1	0	0	0	1	220	急速進行性糸球体腎炎	1	0	0	1	2
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	2	0	0	0	2	222	一次性ネフローゼ症候群	7	1	1	2	11
49	全身性エリテマトーデス	95	5	3	7	110	224	紫斑病性腎炎	0	0	1	0	1
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	37	2	2	2	43	225	先天性腎性尿崩症	0	0	0	1	1
51	全身性強皮症	33	2	0	8	43	230	肺胞低換気症候群	1	0	0	0	1
52	混合性結合組織病	11	0	3	0	14	257	肝型糖尿病	1	0	0	0	1
53	シェーグレン症候群	6	0	2	1	9	266	家族性地中海熱	1	0	0	0	1
54	成人スチル病	4	1	0	0	5	271	強直性脊椎炎	7	0	0	1	8
56	ベーチェット病	16	1	2	4	23	283	後天性赤芽球病	2	0	0	0	2
57	特発性拡張型心筋症	28	1	2	3	34	298	遺伝性聾炎	0	0	0	1	1
58	肥大型心筋症	1	1	0	0	2	300	IgG4関連疾患	3	2	1	0	6
60	再生不良性貧血	9	0	1	0	10	302	レーベル遺伝性視神経症	1	0	0	0	1
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1	0	0	0	1	306	好酸球性副鼻腔炎	10	0	0	0	10
63	特発性血小板減少性紫斑病	18	3	2	1	24							
66	IgA腎症	12	2	3	4	21							
								総計	1,259	89	50	168	1,566

(2) 難病対策地域協議会

関係機関が相互の連絡を図ることにより、地域における難病患者への支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関等の連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた体制整備について協議するために、足柄上センターと協議会及び部会を開催しました。

開催日	内 容	出席者数
R1. 12. 19 (部会)	① 災害時要配慮者等について ② 県西地域災害医療対策会議について ③ 各機関における災害時対応について情報交換	22
R2. 2. 12 (協議会)	① 小田原保健福祉事務所・足柄上センターの難病対策について ② 各機関における台風第19号の対応について ③ R2年度以降の取組みについて	29

(3) 難病患者地域支援ネットワーク事業

難病患者及びその家族を対象に、療養上の不安の解消を図るため、保健、医療及び福祉に関するつどい、相談指導等を実施するとともに、関係機関との連携のもと適切な在宅療養支援の検討を行いました。

ア 難病講演会

開催日	テ ー マ	講 師	会 場	参加人数
R1. 9. 19	膠原病 病気の付き合い方を考える ～病気の理解と最新治療～	国立病院機構 横浜医療センター 膠原病・リウマチ内科 部長 井畑 淳医師	小田原 合同庁舎	39

イ 患者家族のつどい

開催日	内 容	講 師	会 場	参加人数
R1. 9. 19	膠原病 病気との付き合い方を考える ～患者家族のつどい～ 「日常生活のヒントや工夫」	全国膠原病友の会 神奈川県支部会員	小田原 合同庁舎	39

ウ リハビリ教室 (対象 パーキンソン病関連疾患)

開催日	内 容	講 師	会 場	参加人数
R1. 8. 29	(1) リハビリ教室 自宅でできるリ ハビリ体操につ いて	①社会福祉法人 神奈川総合リハビリテーション事業団 地域リハビリテーション支援センター 小泉 千秋 氏 (理学療法士)	小田原 保健福祉事 務所	21
R1. 9. 26				19
R1. 10. 31				(2) 交流会

エ 訪問相談事業

訪問相談員（保健師、看護師）が、患者・家族の療養上の悩み等に対して支援を行いました。

実施回数	訪問		面接		電話	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
16	5	12	10	10	10	10

カ 保健師による家庭訪問・所内指導

家庭訪問

	神経系	膠原病	消化器系	血液系	免疫系	総数
実人数	17					17
延人数	37					37

随時相談

面接	電話	その他	総数	主な相談内容（延べ）					
				申請	医療	看護	福祉	その他	計
76	269	6	351	8	30	199	8	106	351

(4) 難病特別対策推進事業

ア 在宅神経難病患者緊急一時入院（平成17年4月より開始）

2次医療圏に2床、県域で8床、西湘地域では、は箱根病院、足柄上病院に1床ずつ確保されています。医療依存度の高い神経難病患者等の介護者のレスパイトや介護困難時の一時入院受け入れに伴う申請受付と療養相談を行いました。

<利用者の状況> 回数 5件（実人数 4名） 申請数 5件

イ 在宅難病患者保健福祉従事者等研修会

地域で難病患者に関わっている支援者（ケアマネジャー、介護ヘルパー、サービス提供責任者、訪問看護師、地域包括支援センター職員、行政保健師等）を対象に、個別事例や地域での支援課題をテーマにスキルアップを目的に実施しました。

開催日	テーマ	講師	会場	参加人数
R2.1.17	災害への備え ～医療機器利用者への支援を考える～	① 日本ALS協会 神奈川県支部役員 ② 行政法人 国立病院機構箱根病院 臨床工学技士 瓜生 伸一 ③ フィリップス・ジャパン株式会社 江畑 良海	小田原 合同庁舎	42

5 肝疾患対策

肝疾患医療給付申請者に対し申請事務を行うとともに、定例相談、検査を実施しました。

(1) ウイルス性肝炎相談及びC型肝炎・B型肝炎ウイルス検査実施状況

定例相談				受診券発行
実施回数	検査人数	検査内容		
		HCV抗体	HBs抗原	
3	4	4	4	0

(2) 肝炎治療医療費助成制度

平成20年4月からインターフェロン治療に対する医療費助成制度が開始され、B型肝炎の治療として平成22年4月から核酸アナログ製剤治療が助成の対象となりました。また、C型肝炎の治療として平成24年1月からインターフェロン及び内服薬による3剤併用療法が、更に平成26年9月からインターフェロンフリー治療が医療費助成の対象となりました。

区分		申請者数
インターフェロン治療		0
核酸アナログ製剤治療	新規	10
	更新	91
インターフェロンフリー治療		29
3剤併用療法		0

6 原爆被爆者援護

(1) 原爆被爆者健康管理事業

ア 被爆者健康手帳等交付状況

	R2.3月末現在 手帳保有者	新規申請
総数	116	
被爆者健康手帳	47	
第1種健康診断受診者証		
第2種健康診断受診者証		
被爆者のこども受診者証	69	

イ 被爆者健康診断実施状況

		受診者			要精検者	要治療
		総数	被爆者	第1・2種 被爆者のこども		
平成30年度		10	7	3	7	
令和元年度	総数	10	7	3	5	
	第1回 5月	4	4		3	
	第2回 11月	6	3	3	2	

7 骨髄ドナー登録

白血病、重症再生不良性貧血等の患者にとって有効な治療法である骨髄移植を推進するため、骨髄移植推進財団を中心に骨髄バンク事業が実施されていますが、平成7年度から骨髄提供希望者のより一層の確保を図るため、県域では、小田原保健福祉事務所、厚木保健福祉事務所大和センターの2か所が登録受付業務を実施しています。

(1) 小田原保健福祉事務所登録受付の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総数	1	2	1
男		1	
女	1	1	1

(参考) 骨髄バンクの状況

	全 国	神奈川県
提供希望者（ドナー）登録者数	527,793	24,881
移植希望者登録者数	1,266	75
骨髄移植例数（累計）	24,396	1,268

※骨髄移植推進財団日本骨髄バンク 骨髄バンクデータ集資料より 令和2年5月末日現在

8 認知症疾患対策

(1) 認知症疾患相談事業

認知症疾患対策、相談事業、訪問指導事業、処遇困難事例の検討会や研修会、健康教育、徘徊高齢者SOSネットワークシステム等の事業を実施しました。

ア 定例相談

本人、家族、地域包括支援センター職員等からの相談に専門医、保健師が応じています。

相談 件数 (実数)	相談 件数 (延べ数)	相談の方法 (延べ数)			相談内容 (延べ数)				
		訪問	面接	その他	疾 病 一 般	問 題 行 動	治 療	入 院	看 護 介 護
10	10	6	4	0	10	3	0	0	0
					介 護 者 の 問 題	介 護 保 険 サービス	その他 の 制 度	介 護 者 の 支 援	その他
					0	0	0	0	0

イ 随時相談

相談 件数 (実数)	相談 件数 (延べ数)	相談の方法 (延べ数)			相談内容 (延べ数)				
		電話	面接	その他	疾 病 一 般	問 題 行 動	治 療	入 院	看 護 介 護
24	49	47	2	0	48	18	2	6	0
					介護者 の問題	介護保 険サービス	その他 の制度	介護者 の支援	その他
					0	0	0	1	0

(2) 認知症疾患訪問指導

	訪 問 数						年 齢 別 (実数)					
	男		女		総数		60歳 未満	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	総数
	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数						
件数	4	4	5	5	9	9	0	0	3	6	0	9

(3) 処遇困難事例検討事業

一般住民や、地域で認知症患者に関わっている支援者が開催する事例検討会に参加しました

ア 処遇困難事例検討

開催日	出席者	会場	参加者
H31. 4. 23	地域包括支援センター、市高齢介護課・生活支援課 医師会、薬剤師会、社会福祉協議会、居宅介護支援 事業所、民間事業所、主任相談員、民生委員、自治 会 当所職員	二川地区 県域ケア会議	17
R2. 2. 4	地域包括支援センター、市高齢介護課・生活支援課 民生委員、警察署、民間事業所、介護相談所、一般 市民の支援者	地域包括支援センター はくさん	12

イ 認知症患者家族の交流会（おだわら・はこね家族会）

認知症の方を介護する家族、認知症サポーターや介護ボランティア、関係職員を対象に、小田原市と箱根町が開催した家族交流会へ支援を行いました。

開催日	内 容	参加者数
H31. 4. 19	交流会	12
R1. 5. 17	交流会	16
R1. 6. 21	交流会	14
R1. 7. 12	医師を囲んでの交流会 講師 ひまわりメンタルクリニック院長 小林 博子 氏	16
R1. 8. 16	交流会	18
R1. 9. 20	交流会	19
R1. 10. 18	交流会	10
R1. 11. 15	交流会	13
R1. 12. 20	交流会	15
R2. 1. 17	交流会	13

ウ 認知症患者家族の交流会（ゆがわら・まなづる家族会）

真鶴町・湯河原町で開催した、認知症患者家族の交流会へ支援を行いました。

開催日	内 容	参加者数
R1. 5. 10	交流、情報交換会	10
R1. 7. 12	交流、情報交換会	8
R1. 9. 13	交流、情報交換会	9
R1. 11. 8	交流、情報交換会	8
R2. 1. 10	交流、情報交換会	10

エ 関係機関との連携

(ア) 小田原市初期集中支援事業チーム員会議との連携

回数	5回
検討件数 (相談含む)	20件

(イ) 認知症をにんちしよう会との連携

保健・医療・福祉の関係団体及び行政で構成された「認知症をにんちしよう会」に構成機関として参画し、活動しました。

開催日	内 容	会場	参加者
R1. 5. 16	第1回 認知症をにんちしよう会実行委員会	おだわら総合医療福祉会館	29名
R1. 6. 23	認知症をにんちしよう会「認知症フォーラム」	小田原市生涯学習センター	延 144名
R1. 7. 8	第2回 認知症をにんちしよう会実行委員会	おだわら総合医療福祉会館	32名
R1. 8. 21	第3回 認知症をにんちしよう会実行委員会	小田原市役所	31名
R1. 9. 8	認知症をにんちしよう会秋のイベント2019	小田原ダイナシティウエスト	
R1. 11. 30	第4回 認知症をにんちしよう会実行委員会	小田原市役所	28名
R2. 1. 17	第5回 認知症をにんちしよう会実行委員会	小田原市生涯学習センター	30名

(4) 若年性認知症対策事業

若年性認知症家族を対象に、「若年性認知症家族会」を開催し、より良い療養生活ができるよう、家族の交流会を開催しました。開催後は当日の講演の内容を「たより」として発行しました。

開催日	テーマ	講師	参加者
H31. 4. 12	成年後見、生前贈与ってなに？	阪之上法律事務所 弁護士 阪之上 克巳 氏	14名
R1. 6. 14	自分も相手も、楽に体を動かそう！	西湘地区リハビリテーション連絡協議会 理学療法士 前田 大助 氏	13名
R1. 8. 9	お薬なんでも相談	小田原薬剤師会 薬剤師 鶴井 望美 氏	16名
R1. 10. 11	お口の中や歯をいつまでも健康に！	当所 歯科衛生士	13名
R1. 12. 13	毎日のお食事、困っていませんか？	当所 栄養士	8名
R2. 2. 14	精神科の先生になんでもきいてみよう！	曾我病院 精神科医師 早川 典義 氏	11名

(5) 介護予防・認知症予防支援事業

介護予防・認知症予防を目的に、コグニサイズの普及啓発を行いました。

回数	参加者
3回	39名

(6) 徘徊SOSネットワーク事業

徘徊する方の安全を守るため、事前登録、捜索保護の窓口を担う市町及び県庁と連絡調整を行いました。

ア 市町別徘徊SOSネットワーク事前登録状況

事前登録数	小田原市	箱根町	真鶴町	湯河原町
172 (46)	132 (33)	7 (2)	4 (1)	29 (10)

※()内は、R1年度新規登録数

イ ネットワーク実施状況

捜索依頼件数	発見者数(未発見者数)	保護件数	身元判明件数
46	40 (6)	4	3

ウ 認知症等行方不明SOSネットワーク担当者連絡会

開催日	内 容	出席者
R1. 10. 24	① 平成30年度 認知症等行方不明SOSネットワークの現状と課題 ② 各部署の取り組み、意見交換	10

(7) その他

ア 認知症疾患医療センターとの連携

認知症疾患医療センターである曾我病院との地域医療連携強化に努めました。

開催日	内 容
R1. 7. 31	認知症疾患医療センター事業評価
R1. 9. 4	第1回 県西地区認知症疾患医療連携協議会
R2. 2. 19	第2回 県西地区認知症疾患医療連携協議会

イ 認知症担当者会議

開催日	内 容	出席者
R1. 10. 24	管内市町の認知症事業の取り組みについて	7

9 精神保健福祉対策

地域における精神保健及び精神障害者の医療福祉のニーズは年々高まる中で、当所では精神疾患の早期発見、早期治療、再発防止に努めるとともに、精神障害者の社会復帰のための援助を行いました。また、メンタルヘルスの推進を目的に普及啓発活動を行いました。

(1) 会議

保健福祉事務所管内における関係機関・団体等の連携により行われる各種保健・福祉サービスの効果的かつ円滑な推進を図るため、関係機関で構成する会議を開催しました。

ア 地域精神保健福祉連絡協議会

開催日	構 成 員	内 容	出席者数
R2. 2. 26	精神科医療機関 社会復帰関係機関 家族会 相談支援事業者 市町担当課 市町社会福祉協議会 ピアサポーター 精神保健福祉センター 保健福祉事務所	① 地域移行部会における「長期任意入院者患者調査」の報告と課題 ② 措置入院者等の退院支援について ③ 意見交換 関係機関同士の連携について ④ その他	21

イ 地域精神保健連絡協議会 地域移行部会

開催日	構 成 員	内 容	出席者数
R1. 9. 4	医療機関 相談支援事業所 市町職員 ピアサポーター	① 令和元年度 地域移行部会実施計画について ② 精神科病院 長期任意入院者患者調査について ③ 個別支援ケース該当者について ④ 普及啓発チラシについて ほか	17
R2. 1. 10	医療機関 相談支援事業所 市町職員 ピアサポーター	① 精神科病院 長期任意入院者患者調査結果について ② 個別支援ケース該当者について ③ 地域移行ワーキング報告	17

(2) 精神保健福祉業務統計

精神保健福祉相談・訪問指導

ア 把握区分

	実人数	延べ人数
相 談	323 (240)	1, 865
訪 問	36 (5)	259

※ () 内は、保健所把握新ケース (内数)

イ 相談性別・年齢

	性別			年齢								
	男	女	不明	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上	不明
実人数	164	156	4	0	17	31	35	60	50	27	40	64
延人数	902	959	4	0	53	275	213	380	590	130	142	82

ウ 訪問性別・年齢

	性別			年齢								
	男	女	不明	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上	不明
実人数	19	17	0	0	1	3	6	12	7	3	4	0
延人数	144	115	0	0	3	59	40	71	50	16	20	0

エ 相談・訪問契機

	実人数	市町村	医療機関	家族	本人	その他
相談	318	39	17	98	76	88
訪問	35	7	7	6	3	12

オ 相談種別

	延人数	治療の問題	生活上の問題	社会参加の問題	心の健康問題	その他
相談	1,867	567	1,194	8	19	79
訪問	257	87	166	1	0	3

カ 診断名

	実人数	統合失調症	気分(感情)障害	てんかん	器質性精神障害	中毒性精神障害		神経症	その他の精神障害	診断保留	精神障害と認めず	その他
						アルコール	覚せい剤・他					
相談	323	74	33	0	3	8	3	16	24	15	2	145
訪問	36	14	2	0	0	0	1	1	5	0	0	13

キ 相談者

	総数	本人	家族	医療機関	市町村	その他
相 談	1,972	627	352	362	246	385
訪 問	535	192	113	75	67	88

ク 担当者別相談回数

	総数	医師	福祉職	保健師	その他
相 談	1,919	47	1,849	9	14
訪 問	284	22	257	1	4

(3) 普及啓発

精神保健福祉講演会

実施日	内 容	講 師	対 象	参加者数
R1. 10. 16	「家族を支える」 ～みんなで少しずつ～	埼玉県立大学 横山 恵子 教授	行政及び関係機関職員 一般県民	42

(4) 団体支援

精神保健福祉関係団体への支援

	援 助 内 容	援助回数
精 神 障 害 者 家 族 会	総会に参加	1
断 酒 会 、 A A	酒害相談研修会に出席、会場手続き等	13
地域活動支援センターⅢ型支援	総会・地域ネットワーク会議参加	2

(5) 家族支援

ア 精神障害者(主に統合失調症)の家族教室

実施日	内 容	講 師	対 象	参加者数
R1. 10. 16	「かぞく」の思い ～わたしが感じていたこと～	「こどもびあ」 小林 鮎奈 氏	統合失調症の方の家族	19

(6) 医療保護関係事務

ア 精神保健診察

精神保健福祉法に基づく一般からの申請(法22条)・警察官通報(法23条)に対し、精神保健福祉センター兼務職員として調査等を行いました。

	件数	指定医療診察結果				病院紹介	不実施	取下げ
		要措置	不要措置					
			入院	入院外	医療不要			
22条	2							
23条	54	35	1			16	2	

(注) 22条申請の結果は、公表していない

イ 精神科病院実地指導・実地審査(法38条の6)

(ア) 精神保健福祉法に基づく精神科病院に対する実地指導

精神科病院におけるより良い医療の提供と適正な管理運営に資するため、管内2病院に対し、実地に実態を把握し、必要な指導を行いました。

(イ) 精神保健福祉法に基づく実地審査(措置入院者等に対する精神保健指定医の診察)

施設数	審査結果					
	措置入院			医療保護入院		
	継続	移行	入院不要	継続	移行	入院不要
2	2	1		9		

ウ その他の医療保護事務

	延べ件数
入院届	295
応急入院届	1
退院届	512
定期病状報告	190
措置定期病状報告	1

(7) 自殺対策事業

管内関係機関職員(管内一市三町の自殺対策担当者、救急隊、医療機関、警察等)を対象に、自殺の実態について共通認識を図るため、会議を開催しました。

ア 会議

実施日	内容	対象	参加機関数
R2.3.13	地域自殺対策担当者会議「書面会議」 ① 市町の自殺対策計画について ② 地域自殺プロフィールについて ③ 各機関の支援状況について ほか	行政及び関係機関職員	13

(8) その他

ア 地域移行、地域定着支援推進にむけた取組み

開催日	内 容
H31. 4. 19 他計 5回	地域移行部会 ワーキング 1例目のケース（曾我病院で開催）
R1. 5. 14 他計 3回	地域移行部会 ワーキング 2例目のケース（曾我病院で開催）

ウ 小田原市箱根町真鶴町湯河原町地域障害者自立支援協議会 精神部会に参加
精神障害者の地域生活定着を支援するため、H30. 4小田原市箱根町真鶴町湯河原町地域障害者自立支援協議会精神部会が発足し、構成員として参加しました。部会の中のワーキンググループにも参加しました。

開催日	内 容
R1. 7. 3他 計 4回	小田原市箱根町真鶴町湯河原町地域障害者自立支援協議会 精神障害者地域生活支援部会
R1. 11. 13 他 計2回	小田原市箱根町真鶴町湯河原町地域障害者自立支援協議会 精神障害者地域生活支援部会 ワーキンググループ（連携グループ）

エ 研修会

実施日	内 容	講 師	対 象	参加者数
R1. 10. 11	地域移行支援人材養成研修 「精神障害者の地域移行支援の 実際」	相談支援センターくらふと 吉澤 浩一	関係機関支援者	33

オ 小田原市地域交流事業(ハートフェスタ)への協力

小田原市内の保健・医療・福祉の関係団体と行政から構成され、小田原市が事務局となっている小田原市地域交流事業に構成機関として参加しました。

内容	日時・回数	会場
地域交流事業実行委員会	R1. 5. 16ほか計 7回	小田原合同庁舎
おだわらハートフェスタ	R1. 10. 5	ハルネ
市役所普及啓発展示	R2. 2. 25～2. 28	小田原市役所

V 生活福祉課

1 生活保護

生活に困窮する世帯に対して、生活等の相談を受け、必要に応じて最低限度の生活を保障するために生活保護費を支給決定し、併せて自立に向けた支援を行いました。

生活保護費の支給決定については、適正に実施するための調査を徹底するとともに、法令等に定める権利・義務について、被保護者への周知に努めました。

自立支援については、就労支援員、子ども(健全育成)支援員、無料低額宿泊所への生活改善支援員、『就労準備支援及び居住の安定確保支援事業(事業委託)』により、個々の状況に応じた生活・進学・社会参加・就労(準備)等を継続して支援しました。

2 特別障害者手当等

日常生活において、常時介護を必要とする在宅の重度障害児、常時特別の介護を必要とする在宅の重度障害者を対象とした障害児福祉手当及び特別障害者手当の認定事務を行いました。

3 母子・父子・寡婦福祉、女性相談・支援

母子・父子家庭及び寡婦からの生活一般、就業等の相談を受けるとともに、福祉資金の貸付等による援護を実施しました。

また、売春防止法、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律に基づき、配偶者の暴力、離婚等の家庭問題等の相談に応じるとともに、一時保護等の支援を行いました。

1 生活保護

(1) 扶助別被保護世帯数・人員

(令和2年3月分)

		総数	扶助の種類							
			生活	住宅	教育	介護	医療	出産	生業	葬祭
総数	世帯数	909	756	763	26	263	805	0	11	4
	人員	1080	904	906	41	263	906	0	13	4
箱根町	世帯数	233	186	191	3	69	200		2	1
	人員	251	198	203	3	69	212		3	1
真鶴町	世帯数	94	79	77	5	27	80		1	1
	人員	128	110	105	8	27	98		1	1
湯河原町	世帯数	582	491	495	18	167	525		8	2
	人員	701	596	598	30	167	596		9	2

(注) 総数とは「保護世帯数・人員」であり、停止世帯を含む。

(2) 保護の開始・廃止

ア 理由別開始世帯の状況

(令和元年度)

	総数	世帯主の傷病	世帯員の傷病	死亡別離不在	年金の減少等	仕送り減少等
総数	138	20	1	1	1	4
箱根町	41	9				1
真鶴町	15		1		1	1
湯河原町	82	11		1		2

	稼働収入の減少				預貯金の消費	要保護転入	その他
	定年失業	老齢	倒産等	その他			
総数	6	2	5	7	50	0	41
箱根町	3	2	1	5	8		12
真鶴町					4		8
湯河原町	3		4	2	38		21

イ 理由別廃止世帯の状況

(令和元年度)

	総数	世帯主傷病の治癒	世帯員傷病の治癒	死亡	失踪	稼働収入の増加
総数	125			60	3	16
箱根町	31			15	2	2
真鶴町	18			6		1
湯河原町	76			39	1	13

	働き手の転入	年金等の増加	引き取り	施設入所	医療他法	要保護転出	その他
総数		5	1	5	1	19	16
箱根町		1		1			10
真鶴町		2		3			6
湯河原町		2	1	1		19	

(3) 世帯類型別被保護世帯の状況

(令和2年3月)

	総数	高齢者世帯	母子世帯	障害者世帯	傷病者世帯	その他の世帯
総数	909	624	22	81	83	99
箱根町	233	156	3	24	15	35
真鶴町	94	55	7	9	13	10
湯河原町	582	413	12	48	55	54

* 停止世帯数を含まない減に保護を受けた世帯

(4) 労働力類型別被保護世帯の状況

(令和2年3月)

	総数	稼働世帯					非稼働世帯
		世帯主が働いている世帯				世帯員稼働	
		常用	日雇	内職	その他		
総数	909	83	1	22	5	17	781
箱根町	233	20	1	7	1	2	201
真鶴町	94	8		5		3	81
湯河原町	582	55		12	4	12	499

* 停止世帯数を含まない減に保護を受けた世帯

(5) 医療扶助人員の状況

(令和2年3月)

	総数	入院			入院外		
		精神	その他	小計	精神	その他	小計
総数	872	10	22	32	9	824	840
箱根町	207	7	8	15	2	188	192
真鶴町	96		1	1	1	92	95
湯河原町	569	3	13	16	6	544	553

(6) 生活保護施設措置状況

(令和2年3月現在の入所者数)

	救護施設	更生施設
総数	7	2
箱根町	3	1
真鶴町		
湯河原町	4	1

* 発生地により町は分類している。

(7) 保護の開始廃止件数の推移

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
開始	187	189	197	172	124	135	133	148	127	138
廃止	121	121	165	153	136	128	132	158	113	125

(8) 保護世帯数等の推移(年度平均)

(※保護率の単位は%)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
世帯数	756	847	866	903	911	912	906	909	899	907
人員	1,001	1,109	1,127	1,154	1,148	1,136	1,116	1,100	1,088	1,085
保護率※	20.60	22.83	23.62	24.53	24.72	25.02	25.54	25.40	25.68	26.14

2 特別障害者手当等

特別障害者手当等の支給状況

(令和2年3月31日現在)

	障害児福祉手当	福祉手当(経過措置分)	特別障害者手当
総 数	9	2	21
箱 根 町	1		3
真 鶴 町	1	1	4
湯河原町	7	1	14

3 母子・父子・寡婦福祉、女性相談・支援

(1) 母子・父子・寡婦福祉

母子自立支援員の相談指導実施状況

(令和元年度)

区 分		相談件数	区 分	相談件数		
生活一般	住 宅	54	経済的支援・生活支援 その他	母子福祉資金 貸 付	32	
	医療・健康	病 気		39	母子福祉資金 償 還	55
		障 害		24	寡婦福祉資金 貸 付	2
		そ の 他		17		償 還
	家 庭 争 紛	夫等の暴力		94	公 的 年 金	11
		そ の 他		66	児 童 扶 養 手 当	9
	就 労	求 職・転 職		27	生 活 保 護	69
		資 格 取 得・職 業 訓 練		51	税	6
		職 場 の 悩 み		6	そ の 他	77
		そ の 他		12	小 計	261
	結 婚			その他	売店設置(法第25条)	
	養 育 費	2			たばこ販売(法第26条)	
	借 金	14			母子世帯向公営住宅(法第27条)	1
	そ の 他	11			母子福祉施設の利用	18
小 計	417	母子生活支援施設(児童福祉法第38条)	106			
児 童	養 育	保育所入所	11	小 計	125	
		虐 待	31	合 計	977	
		そ の 他	77			
	教 育	39				
	非 行	1				
	就 職	3				
	そ の 他	12				
小 計	174					

(2) 女性相談・支援

女性相談員相談状況

ア 相談主訴別取扱状況

(令和元年度)

	総 数	人間関係	経済問題	帰住地なし	住宅問題	医療関係	その他
総 数	34 (14)	17 (14)	14 (0)	3 (0)			
箱 根 町	8 (4)	5 (4)	1 (0)	2 (0)			
真 鶴 町	11 (6)	6 (6)	5 (0)				
湯河原町	6 (4)	4 (4)	2 (0)				
管 外	9 (0)	2 (0)	6 (0)	1 (0)			

イ 相談後の処理状況

(令和元年度)

	総 数	就職 自営	結 婚	家庭へ 送還	福祉事 務所へ 移送	女 性 相 談 所 ・ 女 性 相 談 員 へ 移 送	他 府 県 の 女 性 相 談 所 ・ 相 談 員 へ 移 送	そ の 他 機 関 ・ 施 設 へ の 移 送	助言 指導	その他
総 数	34 (14)							1 (1)	33 (13)	0 (0)
箱 根 町	8 (4)							1 (1)	7 (3)	
真 鶴 町	11 (6)								11 (6)	
湯河原町	6 (4)								6 (4)	
管 外	9 (0)								9 (0)	

(注) ()内は、配偶者の暴力によるもので、内数

VI 環境衛生課

地域住民が健康で快適な生活を送れるよう、環境・薬事衛生関係営業施設の衛生的な管理や営業者、事業者の意識向上を目的とした監視指導を実施し、生活衛生の確保に努めました。

1 生活衛生営業関係

理容所、美容所、クリーニング所、旅館など日常生活に密着したサービスを提供する6業種の営業施設に対し、衛生水準の維持・向上を目的として立入検査を実施するとともに、営業者による自主管理の徹底を図りました。特に、旅館及び公衆浴場は、入浴施設におけるレジオネラ症の発生防止を図るため、浴槽水等の衛生管理について重点的に監視指導を実施しました。

平成30年6月15日に施行された住宅宿泊事業法に基づき、住宅宿泊事業者に課せられた衛生確保措置等の義務が遵守されるよう、届出施設の監視指導を実施するとともに、管内市町等と連携して指導を行えるよう地域連絡会を開催しました。

海水浴場等の夏期施設は、関係機関と連携を図りながら監視指導を行い、衛生と安全確保に努めるとともに、海水浴場でのたばこのルールへの定着に向けて、ルールの周知啓発や遵守を指導し、プール施設は、プール水の消毒や水質検査の徹底など安全衛生管理基準の遵守を指導しました。

2 生活環境施設関係

浄化槽設置者等に対し、適正な維持管理の啓発に努めるとともに、浄化槽保守点検業者の立入検査を行い、適正な業務の推進について指導を行いました。

多数の者が利用する特定建築物の衛生的環境を確保するため、維持管理指導を実施するとともに、建築物清掃業等登録業者の営業所等の立入検査を行い、適正な業務の推進について指導を行いました。

専用水道及び簡易専用水道等に対して監視指導を行い、衛生的で安全な水道の確保に努めました。

また、地域住民の住居衛生に関わるねずみ・昆虫等に関する相談の受付及び助言指導を実施し、健康で快適な住環境の確保に努めました。

3 動物愛護関係

動物の愛護に対する意識が高まる中、動物愛護と適正な飼養の推進を図るため、動物愛護知識の普及啓発及び飼い主への飼育指導等に努めました。

4 薬事衛生関係

医薬品等の品質、有効性及び安全性を確保するため、薬局及び医薬品販売業者に対して医薬品の取扱、保管管理、医薬品情報の提供について、また、医薬品等の製造業者に対しては、製造管理、品質管理等について監視指導を行いました。

また、毒物又は劇物による危害を未然に防止するため、毒物劇物の販売業者、製造業者等に対して保管管理、取扱等について監視指導を行いました。

薬物乱用防止対策として、地域における薬物乱用防止の環境づくりのため、薬物乱用防止推進地域連絡会を中心に、市町、関係団体等と連携し、街頭啓発キャンペーンを実施しました。

1 環境衛生営業関係

(1) 環境衛生営業関係

ア 環境衛生営業施設数及び監視指導状況

環境衛生営業施設に対し、施設や器具類の衛生管理について監視指導を実施しました。

	施設数	市町別施設数内訳				許可 〔確認 届出 件数〕	廃止 件数	監視 指導 件数
		小田原市	箱根町	真鶴町	湯河原町			
総数	1,861	758	743	76	284	143	103	536
理容所	192	144	16	6	26	2	7	33
美容所	457	364	22	11	60	30	23	106
クリーニング所	176	130	20	6	20	4	10	49
旅館	803	76	544	50	133	69	44	245
興行場	5	5						2
公衆浴場	185	17	125	1	42	11	9	88
住宅宿泊事業	43	22	16	2	3	27	10	21

イ 住宅宿泊事業法に係る地域連絡会議

	議 題	参加者	出席者数
R1. 6.19	<ul style="list-style-type: none"> 周辺地域住民の生活環境を確保するための連携の推進について 住宅宿泊事業に係る関係各機関との情報共有等について 	市町、消防本部、警察署等関係機関	15名

ウ 海水浴場等施設数及び監視指導状況

海水浴場、プール等夏季施設に対し、利用者の安全と衛生を確保するための監視指導を実施しました。

	施設数	市町別施設数内訳				監視指導 件数
		小田原市	箱根町	真鶴町	湯河原町	
総数	33	11	6	2	14	108
海水浴場	4	2		1	1	27
更衣休憩所	13	1		1	11	67
プー ル	16	8	6		2	14

エ 海水浴場の水質検査

海水浴場の水質把握のため海水の水質検査を実施したところ、2海水浴場とも適でした。

		ふん便性 大腸菌群数 (個/100ml)	COD (mg/l)	透明度 (m)	油膜	判定
真鶴町 岩	第1回	1	1.3	1<	なし	適(AA)
	第2回	5	0.8	1<	なし	適(A)
湯河原町 吉浜	第1回	1	1.1	1<	なし	適(AA)
	第2回	4	1.0	1<	なし	適(A)
判定基準(不適)		1,000<	8<	<0.5	あり	

※ 第1回調査実施日：シーズン前（5月7日及び8日）

第2回調査実施日：シーズン中（7月1日及び2日）

※ 小田原市内の海水浴場の水質検査は、小田原市が実施しています

オ 小田原地区海水浴場対策連絡協議会

	議 題	参加者	出席者数
R1. 6.27	・海水浴場対策事業について ・海水浴場のたばこ対策について	市町、海水浴場組合、 警察等	15

カ 講習会実施状況

	実施回数	受講者数
総 数	3	64
環境営業関係者	1	50
夏期施設関係者	2	14

キ 免許事務実施状況

	免許申請	書換・訂正	再交付
クリーニング師	2		

2 生活環境施設関係

(1) 生活環境施設関係

ア 浄化槽設置基数及び維持管理指導状況

浄化槽の設置者等に対し、公共用水域の水質汚濁防止等生活環境の保全を図るため維持管理指導を実施しました。

設置基数	市町別設置基数内訳				監視指導 件 数
	小田原市	箱 根 町	真 鶴 町	湯河原町	
21,267	11,187	3,906	2,996	3,178	32

イ 浄化槽保守点検業者登録数及び監視指導状況

登録業者数	監視指導件数
24	12

ウ 特定建築物施設数及び監視指導状況

特定建築物の衛生的環境を確保するため施設の立入検査を行い、施設管理者に対し、維持管理指導を実施しました。

	施設数	市町別施設数内訳				監視指導 件 数
		小田原市	箱 根 町	真 鶴 町	湯河原町	
総 数	170	55	91	0	24	63
旅 館	102	3	83		16	23
百 貨 店	2	2				3
店 舗	25	19	3		3	19
学 校	8	5	1		2	4
事 務 所	17	15	1		1	10
博 物 館	2	2				
美 術 館	3		3			
集 会 場	6	4			2	1
遊 技 場	2	2				2
興 行 場	2	2				1
図 書 館	1	1				

エ 建築物衛生管理業登録業者数及び監視指導状況

建築物清掃業等登録営業所等に対する立入検査を行い、業務運営や業務内容の向上を図るよう指導を実施しました。

	営業所数	監視指導 件数
総数	63	18
建築物清掃業	16	5
建築物空気環境測定業	4	2
建築物飲料水貯水槽清掃業	24	5
建築物排水管清掃業	3	0
建築物ねずみこん虫等防除業	8	2
建築物環境衛生総合管理業	8	4

オ 住まいと環境衛生推進事業

住居衛生に関わる問題に対処するとともに、健康で快適に暮らすための知識の普及及び助言指導を行いました。

実施事項	実施数	内 容
住まいに係る相談受付・処理	7	ねずみ・昆虫等 6
		カビ 0
		その他 1

カ 苦情・相談等処理状況（ねずみ・昆虫等及びその他は再掲）

浄化槽	ねずみ・昆虫等	その他	総数
7	6	1	14

(2) 水道施設関係

ア 水道施設数及び監視指導状況

(ア) 飲料水の安全と衛生的確保を図るため、水道施設の衛生管理等について監視指導を実施しました。

	施設数	町別施設数内訳			監視指導 件数
		箱根町	真鶴町	湯河原町	
総数	515	397	17	101	45
上水道	5	2	1	2	
簡易水道	2			2	
専用水道	53	52		1	7
簡易専用水道	455	343	16	96	38

(イ) 小規模水道及び小規模受水槽水道の衛生管理について、監視指導を実施しました。

	施設数	町別施設数内訳			監視指導 件数
		箱根町	真鶴町	湯河原町	
総数	266	166	17	83	27
小規模水道	8	6	1	1	7
小規模受水槽水道	258	160	16	82	20

(3) 環境対策事業

水質汚濁防止法による特定事業場として指定を受けた旅館に対し、排出水の水質検査を実施しました。

	該当施設数	実施計画施設数	水質検査施設数
総 数	74	21	19
箱 根 町	63	16	14
湯 河 原 町	11	5	5

3 動物愛護関係

(1) 動物の飼育指導・相談

犬、猫等の飼育指導・相談を行い動物愛護の啓発に努めました。また、動物愛護センターと密接な連絡をとり、飼えなくなった犬、猫の引き取りを行いました。

ア 飼えなくなった犬、猫の引き取り状況

	頭 数	市町別頭数内訳			
		小田原市	箱 根 町	真 鶴 町	湯河原町
総 数	20	19	1	0	0
犬	19	18	1	0	0
猫	1	1	0	0	0

イ 咬傷事故の発生状況

件 数	市町別件数内訳				
	小田原市	箱 根 町	真 鶴 町	湯河原町	所管外
14	10	1	0	2	1

ウ 犬、猫の苦情相談等の処理状況

	捕獲依頼	引取依頼	飼育指導	計
総 数	6	0	199	205
犬	6	0	54	60
猫		0	145	145

4 薬事衛生関係

(1) 医薬品関係

医薬品等の品質、有効性及び安全性を確保するため、薬事監視指導実施要領に基づき薬局、医薬品販売業等に対して監視指導を実施し、適正な医薬品の取扱及び管理、調剤過誤等の発生防止等の徹底を図りました。

また、医薬品等製造業に対しては、製造管理について監視指導を実施しました。

ア 施設数及び監視指導件数

	施設数	市町別施設数内訳				立入件数	違反件数
		小田原市	箱根町	真鶴町	湯河原町		
総数	990	848	43	19	80	298	
薬局	125	108	4	2	11	68	
薬局製造販売 医薬品	製造販売業	11	11			1	
	製造業	11	11			1	
医薬品 販売業	店舗	58	46	3	2	7	31
	卸売	20	20				8
医薬品等製造業	35	34			1	6	
高度管理医療機器 販売・貸与業	117	105	2	1	9	69	
再生医療等製品 販売業	2	2				1	
管理医療機器 販売・貸与業	611	511	34	14	52	113	

イ 薬局、医薬品販売業等許可、届出取扱件数

	総数	薬局	薬局製造販売 医薬品		医薬品 販売業		高度管理医療機器 販売業・貸与業	再生医療等製品 販売業	管理医療機器 販売業・貸与業
			製造販売業	製造業	店舗	卸売			
新規許可 届出	69	11	1	1	5		7		44
許可更新	19	6				1	12		
廃止	36	8	1	1	1		6		19

(2) 毒物劇物関係

毒物劇物による危害及び事故の発生を未然に防止するため、毒物劇物監視指導実施要領に基づき、毒物劇物営業者等に対して監視指導を実施し、毒物劇物の適正な製造管理・取扱・保管管理等の徹底を図りました。

ア 施設数及び監視指導件数

	施設数	市町別施設数内訳				立入検査	違反件数
		小田原市	箱根町	真鶴町	湯河原町		
総数	144	128	5	3	8	48	
販売業	一般販売業	102	90	4	2	6	45
	農薬用品目	22	18	1	1	2	
	特定品目	5	5				
製造業	10	10				2	
輸入業	2	2				1	
特定毒物研究者	1	1					
特定毒物使用者	2	2					

イ 毒物劇物販売業登録、届出取扱件数

	毒物・劇物販売業			
	総数	一般	農薬用品目	特定品目
新規登録	5	5		
登録更新	6	6		
廃止	8	6	1	1

(3) 麻薬関係

麻薬等を取り扱う施設に対し、麻薬及び向精神薬監視指導実施要領に基づき監視指導を実施し、麻薬の適正な譲渡、譲受、施用、管理等における保健衛生上の危害発生防止を図りました。

ア 施設数及び監視指導件数

	総数	麻薬卸売業者	麻薬小売業者	麻薬取扱施設			麻薬研究者
				病院	診療所	動物病院	
施設数	198	4	89	16	63	23	3
立入検査数	81	3	54	21	2		1

イ 麻薬免許事務取扱件数

	総数	麻薬卸売業者	麻薬小売業者	麻薬施用者	麻薬管理者	麻薬研究者
新規免許	57		11	37	7	2
免許継続	206	3	41	148	14	
再交付	5			5		
廃止	30		8	18	3	1

(4) 薬物乱用防止対策事業

薬物乱用防止意識の向上を図るため、関係機関・団体に構成する薬物乱用防止推進地域連絡会を開催し、住民や青少年指導者等を対象とした街頭キャンペーン等の啓発活動を実施しました。

ア 薬物乱用防止推進地域連絡会

	議 題	会 場	参加者数
R2. 2. 3	①薬物乱用防止対策について 神奈川県における薬物乱用防止対策について 当所における薬物乱用防止対策について ②令和元年度薬物乱用防止啓発事業実施状況及び 令和2年度薬物乱用防止啓発事業計画について	小田原合同庁舎	26

イ 薬物乱用防止啓発活動

街頭キャンペーン

	名 称	会 場	備 考
R1. 11. 19	令和元年度小田原地区薬物乱用防止 推進街頭キャンペーン及び県西地域 青少年社会環境健全化推進街頭キャ ンペーン	小田原駅 東西自由 連絡通路	パンフレット及びポケッ トティッシュ他啓発物 各2,500部配布

Ⅶ 食 品 衛 生 課

飲食に起因する衛生上の危害の発生を防止するため、食品営業施設の許認可事務及び監視指導をはじめ、食品等の収去検査、食品関係事業者に対する衛生講習会、消費者からの食品等の苦情相談などを行い、食中毒予防及び食品の安全・安心の確保を図りました。

1 食品営業施設の許認可事務及び監視指導

食品衛生法に基づく許可業種、県条例に基づく許可業種、県条例に基づく報告営業及び給食施設について許認可事務を行うとともに、監視指導を実施し、食品等に起因する衛生上の危害の発生防止に努めました。

また、同法の改正により制度化されるHACCPに沿った衛生管理について、導入に向けた指導を行いました。

2 食品等の収去検査

食品の収去検査（抜き取り検査）を実施し、調理・製造された食品等が規格基準等に適合しているかを確認し、不良食品の排除に努めました。

3 衛生講習会

食品営業者や食品衛生責任者等を対象に、HACCPの考え方を取り入れた食品の衛生的な取扱い、食中毒予防、自主管理等についての講習会を実施し、食品衛生知識の普及啓発に努めました。

4 食中毒調査

食中毒発生に際し、迅速かつ的確な調査を行い、食中毒の原因究明及び適切な措置を講じ、被害の拡大防止、再発防止に努めました。

5 食品等の苦情・相談

消費者からの食品等に関わる苦情・相談には、迅速な処理と適切な対応を行い、食の安全・安心の確保に努めました。

1 食品営業施設の許認可事務及び監視指導

ア 営業許可（政令許可・条例許可）

	※1 総数	地区別施設数						許可件数		廃業 件数	監視指 導件数
		小田原	箱根	真鶴町	湯河原	※2 その他	自動車 による 営業	継続	新		
飲食店営業	3654(19)	1,935	1059	109	487		64	415	276	325	1888
菓子(パンを含む)製造業	294	185	48	7	45		9	35	21	20	226
乳処理業	0										
特別牛乳搾取処理業	0										
乳製品製造業	2	2									
集乳業	0										
魚介類販売業	343	235	39	14	51		4	36	22	28	373
魚介類競り売り営業	2	1		1							
魚肉練り製品製造業	24	20	2	2				3		2	45
食品の冷凍又は冷蔵業	14	12		1	1			2			5
缶詰又は瓶詰食品製造業	4	4						2	2		5
喫茶店営業	334(224)	216	68		34		16	27	32	36	119
あん類製造業	5	5						2			28
アイスクリーム類製造業	5	4			1						3
乳類販売業	508(127)	307	128	10	61		2	64	28	58	500
食肉処理業	18	17	1					1	2		19
食肉販売業	267	186	36	9	34		2	35	18	22	370
食肉製品製造業	7	6	1								10
乳酸菌飲料製造業	0										
食用油脂製造業	2	1			1						
マーガリン又はショートニング製造業	0										
みそ製造業	4	3			1			1			6
しょう油製造業	0										
ソース類製造業	2	2									1
酒類製造業	3	2	1								
豆腐製造業	13	6	5		2				1	2	8
納豆製造業	1	1									
麺類製造業	19	9	5	2	3			1		1	16
総菜製造業	78	62	7		9			16	2	5	80
添加物製造業	0										
食品の放射線照射業	0										
清涼飲料水製造業	12	9			3			1	2		20
氷雪製造業	2(1)	1	1								2
氷雪販売業	10	8	1	1							
合計	5627(371)	3239	1402	156	733		97	641	406	499	3724
条例許可	魚介類行商	22	11	1		4	6	2	1	2	5
	魚介類加工業	77	53	3	7	14		5	1	4	48
	発酵乳等販売業	29	12	15		2			2	1	6
	合計	128	76	19	7	20	6		7	4	7

※1 総数の欄の()内は自動販売機による営業で内数

※2 取扱所を設置しないで魚介類行商を営む者及び取扱所の所在地が当所管轄外のもの

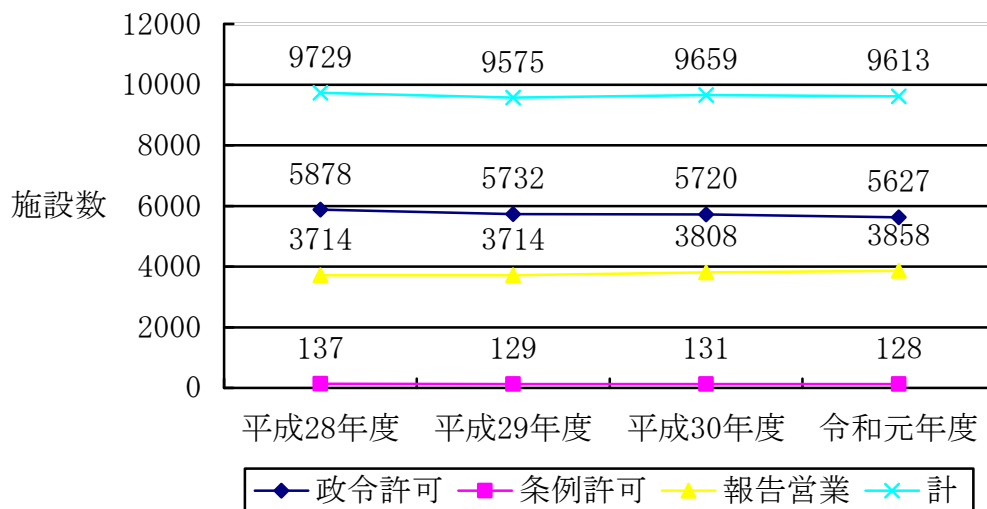
イ 報告営業

			総数	地区別施設数					新規届出	廃業件数	監視件数
				小田原市	箱根町	真鶴町	湯河原町	移動営業			
報告営業	給食施設	学 校	34	25	5	1	3				64
		病院・診療所	11	7	1	1	2				14
		事業所	16	1	12		3			1	9
		その他	104	81	9	3	11		6	8	78
	乳 搾 取 業	12	12								
	食 品 製 造 業	274	219	18	3	34		16	18	164	
	野 菜 果 物 販 売 業	450	303	62	11	62	12	49	37	359	
	総 菜 販 売 業	399	251	72	12	53	11	42	41	400	
	菓子(パンを含む)販売業	922	547	225	27	109	14	115	105	592	
	食 品 販 売 業	1289	811	261	39	147	31	127	119	644	
	食品添加物の製造業	2	2					1		1	
	食品添加物販売業	63	48	2	5	8		5	3	89	
	氷 雪 採 取 業	0									
	器具、容器包装、おもちゃの製造又は販売業	282	177	64	7	33	1	20	19	353	
	合 計	3858	2484	731	109	465	69	381	351	2767	

ウ 合計

	施設数	監視件数
総 数	9613	6550
政令許可	5627	3724
条例許可	128	59
報告営業	3858	2767

エ 施設数の推移



2 食品等の収去検査

	収去検体数	不適検体数	不適内訳	
			細菌	理化学
総 数	195	0	0	0
一般食品	128			
乳肉食品	67			

3 衛生講習会

	実施回数	受講者数	対象者
総 数	36	2132	
食品営業者等	35	2111	食品衛生責任者、調理従事者等
消 費 者	1	21	

4 食中毒調査

食中毒発生状況

発生日	発生場所	業 種 ・ 種 目	摂食者数	患者数	病因物質
H31. 4. 6	小田原市	飲食店営業・すし屋、弁当屋	76	47	ノロウイルス
R2. 1. 7	湯河原町	飲食店営業・総菜屋、弁当屋	8	5	ノロウイルス

5 食品等の苦情・相談

苦情受付件数

苦情内容 食品の分類	苦情内容										総 数
	異 物	か び	腐敗変敗	異味異臭	不衛生 取扱管理	容器包装 の不良	添加物	有症苦情	その他		
乳・乳製品・乳類加工品					1						1
魚介類及びその加工品	(1)	1		4(1)	2(2)			3(8)	2(3)		12(15)
肉・卵類及びその加工品	3			1(2)				5(6)	4(2)		13(10)
穀類及びその加工品	(2)							1(1)			1(3)
野菜類（豆類を含む） 及びその加工品	2(2)		1		(1)	(1)			(1)		3(5)
菓子類	1	1(1)			(1)				(3)		2(5)
その他	14(4)		1	4(1)	8(8)			14(12)	7(4)		48(29)
不 明	1			(1)	(1)			2(6)	2(10)		5(18)
施設に関するもの					4(5)				(2)		4(7)
総 数	21(9)	2(1)	2(0)	9(5)	15(18)	0(1)	0	25(33)	15(25)		89(92)

※（ ）内は平成30年度の件数

VIII 温泉課

1 許認可及び届出事務

温泉法に基づく掘削、増掘及び動力装置についての申請審査事務や、温泉採取、ガス濃度確認及び温泉利用についての許認可事務並びに各種届出事務を行いました。

2 調査事業

温泉保護対策調査及び温泉実態調査として、源泉の温度・揚湯量等の調査、温泉水位調査及び温泉利用施設の監視指導を行いました。また、硫化水素含有泉の調査及び監視指導を行い、硫化水素による健康被害防止に努めました。

源泉の温度・揚湯量等の調査の結果は、令和元年東日本台風の影響により、調査中止となった源泉が多かったため、揚湯確認源泉数、揚湯量が例年に比べ減少しました。

温泉の水位調査ですが、湯河原町内の源泉については平成3年度から、箱根町内の源泉については平成16年度から実施しています。いずれの源泉もここ数年、大きな変化は見られませんでした。

また、硫化水素含有泉の調査及び監視指導では、温泉供給事業者の自主管理が実施されており、利用施設においても硫化水素の濃度が基準値を上回る施設はありませんでした。

3 温泉の保護及び適正利用の意識啓発

限りある貴重な温泉資源の保護の必要性及び適正利用の推進について、意識啓発を図りました。

1 許認可及び届出事務

温泉の保護及び適正な利用を図るため、温泉法や神奈川県温泉保護対策要綱に基づき掘削、増掘及び動力装置についての申請審査事務や、温泉採取、ガス濃度確認及び温泉利用についての許認可事務並びに各種届出事務を行いました。

温泉法に基づく許可申請及び届出の事務処理件数

	市町別	平成 30 年度		令和元年度	
		受付件数	許可件数	受付件数	許可件数
掘削許可申請	箱根町	2	2	3	2
	湯河原町				
	小田原市				
	真鶴町				
増掘許可申請	箱根町				
	湯河原町				
	小田原市				
	真鶴町				
動力装置許可申請	箱根町	1	1		
	湯河原町				
	小田原市				
	真鶴町				
採取許可申請	箱根町				
	湯河原町				
	小田原市				
	真鶴町				
採取施設変更許可申請	箱根町				
	湯河原町				
	小田原市				
	真鶴町				
ガス濃度確認申請	箱根町	3	3	4	4
	湯河原町			1	1
	小田原市				
	真鶴町				
利用許可申請	箱根町	42	42	34	35
	湯河原町	11	11	16	16
	小田原市			1	1
	真鶴町				
利用承継承認申請	箱根町				
	湯河原町			1	1
	小田原市				
	真鶴町				
市町別合計	箱根町	48	48	41	41
	湯河原町	11	11	18	18
	小田原市			1	1
	真鶴町				
申請・許可件数 合計		59	59	60	60
各種届出	箱根町	505		273	
	湯河原町	92		185	
	小田原市	6		10	
	真鶴町	2		1	
届出件数 合計		605		469	

2 調査事業

(1) 源泉の温度・揚湯量等の調査

温泉保護対策調査及び温泉実態調査として、温泉行政の適正な施策展開のための基礎資料となる温度・揚湯量等の調査を行いました。調査結果としては、令和元年東日本台風の影響により、調査中止となった源泉が多かったため、揚湯確認源泉数、揚湯量が例年に比べ減少しました。調査に併せて温泉の許可事項の遵守状況について監視指導を実施しました。

		平成30年度			令和元年度		
		既存源泉数	揚湯確認源泉数	揚湯量(L/分)	既存源泉数	揚湯確認源泉数	揚湯量(L/分)
総数		642	187	11,678	642	210	※1 13,054
箱根町	湯本・塔之沢	109	82	5,149	109	81	5,197
	その他の地区※2	369	調査対象外地区		369	124	7,459
湯河原町		157	100	6,152	157	調査対象外地区	
小田原市		7	5	377	7	5	397

※1 揚湯量は小数第1位を四捨五入しているため合計と異なる。

※2 大平台、宮ノ下、底倉、堂ヶ島、小涌谷、木賀、宮城野、強羅、二ノ平、仙石原、湖尻、大涌谷、姥子、芦ノ湖、湯ノ花沢、芦之湯、蛸川

(2) 温泉状況の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
既存源泉数	642	642	642	642	642
揚湯量(L/分)	26,007	25,980	26,533	26,824	19,206
平均温度(℃)	59.09	59.82	60.60	60.69	60.80

※各年度、揚湯量調査の未実施地域については前年度調査結果を算入

(平成29年度箱根町(その他の地区)の揚湯量 15,146L/分を平成30年度に、平成30年度湯河原町の揚湯量 6,152L/分を令和元年度に算入)

(3) 温泉水位調査

温泉資源の長期的動向を把握することを目的とした温泉保護対策調査の一環として、湯河原町の6源泉及び箱根町の6源泉について静水位を測定しました。

図1 令和元年度水位調査結果 [湯河原町内]

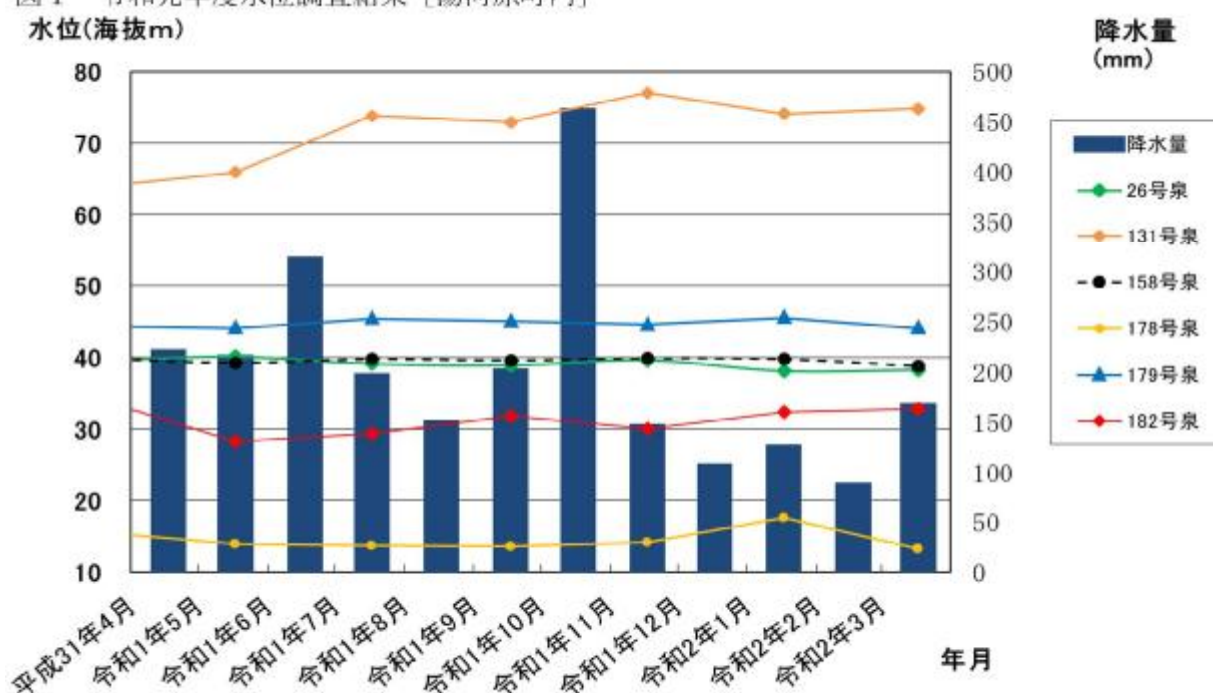
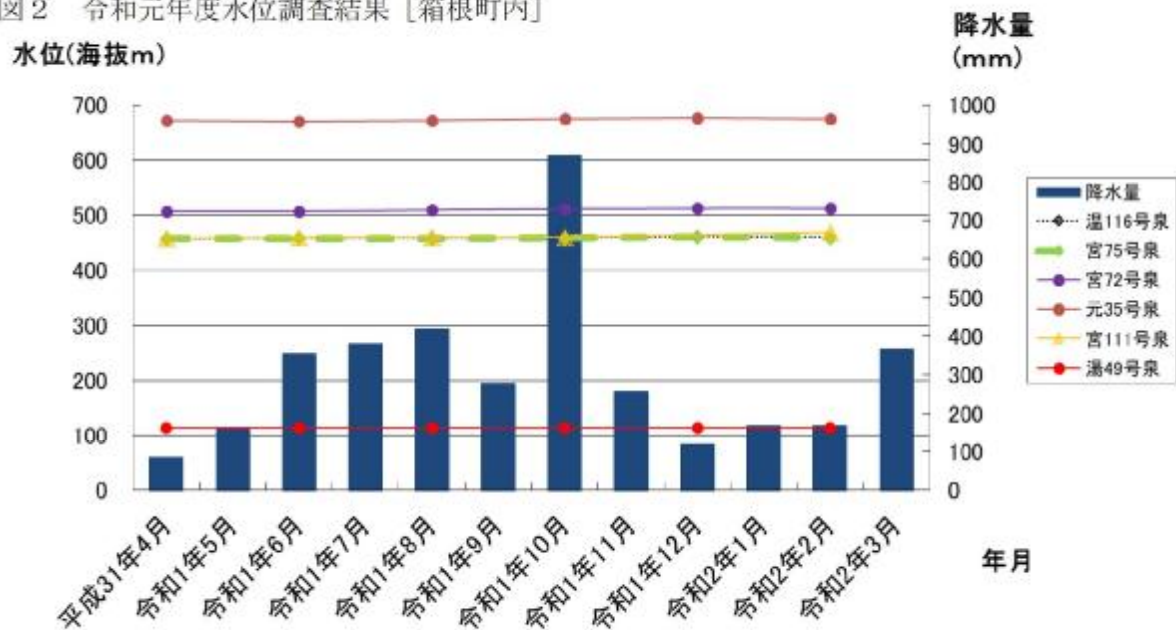


図2 令和元年度水位調査結果 [箱根町内]



(4) 温泉採取許可施設の監視指導

温泉の採取等に伴い発生する可燃性天然ガスによる災害を防止するため、温泉採取許可施設の管理状況等について、監視指導を実施しました。

	平成30年度			令和元年度		
	採取許可施設数	監視施設数	※濃度確認源泉数	採取許可施設数	監視施設数	※濃度確認源泉数
総数	2	2	391	2	2	394
箱根町	0	0	293	0	0	296
湯河原町	1	1	94	1	1	94
小田原市	1	1	4	1	1	4

※可燃性天然ガス対策が必要ないと確認した源泉数

(5) 温泉利用施設の監視指導

温泉の適正利用を推進するため温泉利用施設の管理状況及び「温泉成分等揭示証」の適正な揭示について、監視指導を実施しました。

	平成30年度		令和元年度		
	許可施設数	監視施設数	許可施設数	監視施設数	
総数	709	391	710	188	
箱根町	下地区※1	201	16	203	13
	上地区※2	352	362	356	23
湯河原町	145	13	140	150	
小田原市	8	0	8	1	
真鶴町	3	0	3	1	

※1湯本、塔之沢、大平台、宮ノ下、底倉、堂ヶ島、小涌谷、木賀、宮城野、二ノ平

※2強羅、仙石原、湖尻、姥子、芦ノ湖、湯ノ花沢、芦之湯、蛸川

(6) 硫化水素含有泉の調査・監視指導

硫化水素含有泉を利用する温泉利用施設の管理者及び温泉供給事業者に対し、平成 29 年 9 月 1 日環境省告示「公共の浴用に供する場合の温泉利用施設の設備構造等に関する基準（改正）」に基づく施設管理の徹底を指導し、硫化水素含有泉による事故防止を図りました。

	平成 30 年度		令和元年度	
	調査浴室件数	基準値*超過浴室	調査浴室件数	基準値*超過浴室
硫化水素含有泉 利用施設	38	0	20	0

※基準値 浴槽湯面から上方 10 cm の位置の硫化水素濃度 20ppm を超えない
浴室床面から上方 70 cm の位置の硫化水素濃度 10ppm を超えない

3 温泉の保護及び適正利用の意識啓発

限りある温泉資源の保護の必要性及び適正利用の推進について、関係団体の主催する研修会に講師を派遣し、意識啓発を図りました。

	平成 30 年度		令和元年度	
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数
温泉関係者	7	40	2	32
一般県民	0	0	0	0

職員の研究会・学会等発表 ※令和元年度は実施無し

演 題 名	発表者	月 日	会 場	研究会等名称

令和元年度 小田原保健福祉事務所年報

令和2年10月発行

編集・発行

神奈川県小田原保健福祉事務所

TEL:0465 (32) 8000 (代表)
